

2カメラ同時録画 バイク・自転車用ドライブレコーダー 【取扱説明書】

BDVR-A002

この度は本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
なお、お読みになった後も大切に保管してください。



MAXWIN

ご 注 意

- ・ 本機の取り付け、撮影映像の確認にはスマートフォンまたは、パソコンが必要になります。あらかじめご用意ください。
- ・ 電源ONの状態でもicroSDカードの抜き差しを行わないでください。
- ・ 必ず1～2週間に一度、本機でmicroSDカードのフォーマットを行ってください。

■もしも事故に遭われた場合のご注意

- 1.事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ず録画ボタンを押して録画を停止してください。
- 2.電源ボタンを長押しすると本体の電源がOFFになりますので、その後にmicroSDカードを抜いて大切に保管してください。

お知らせ

本書で使用している画像は開発中のイメージ画像の為、
実際の製品とは異なる場合があります。

記載内容に不備がある場合は、
新しい取扱説明書を公開している場合がございます。

取扱説明書の最新バージョンは、
以下のURLからご確認いただけます。

<https://maxwin.jp/download/102789/>



※取扱説明書のダウンロードファイルはPDF形式になります。

目次

■安全上のご注意	1
■取付上のご注意	3
■使用上のご注意	4
■本機の防塵・防水性能について	5
■microSDカードについて	6
■内蔵充電バッテリーについて/Type-C接続端子について	8
■GPS測位について/撮影された映像について/ 本機のお手入れについて	9
■無線LANに関する注意	10
■梱包内容の確認	11
■各部名称と働き	12
■バッテリー残量表示ランプ	15
■LED表示/バイブレーション/音声ガイダンスによる通知	16
■本機の充電	19
■microSDカードの挿入・取り出し	20
■microSDカードのフォーマット(初期化)	21
■電源のON/OFF	22
■WiFi機能について	23
■専用アプリのインストール	24
■スマートフォンと接続する	25
■日付と時刻について	26
■録画方式	27
■ヘルメットに取り付ける	29
■専用スマートフォンアプリ「録Record V2」について	37
■スピード注意情報について	51
■パソコンで再生する	52
■よくある質問	55
■製品仕様	57
■ファームウェアについて	58
■商品保証書	59

安全上のご注意

この取扱説明書及び製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよくご確認ください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、傷害または家屋、家財など損害が想定される内容を示しています。



警告

■本機はUSB Type-C端子(電源供給)5V/2A専用です。

自転車、電動アシスト自転車、原付、バイク、電動キックボード、キックスクーター専用です。上記以外の使用環境は想定していません。

■本機を分解したり、改造しないでください。

事故、火災、感電の原因となります。

■電源コードの被膜を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。

電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。

■音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。

事故、火災、感電の原因となります。

■万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、ただちに使用を止めて電源をOFFにして下さい。

そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。

■運転者は、走行中にmicroSDカードの抜き差しやスイッチの操作をしないでください。

前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

■本機が衝撃を検知するかを確かめるために故意に危険な運転をすることなどは、絶対にしないでください。

■機器内部に水や異物を入れないでください。

発煙、発火、感電の原因となります。

■雷が鳴り出したら、本機に触れないでください。

落雷により、感電の危険性があります。

■本機を使用するために、禁止された場所に駐停車しないでください。

■microSDカード挿入口に異物を入れないでください。

火災や感電の原因となります。

■乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

付属品を誤って飲み込んだり、怪我の原因となります。



- **本機は、運転時の状況を記録することが目的です。**
その他の目的では、使用しないでください。
- **本機に、強い力やショックを与えることはしないでください。**
火災、故障のおそれがあります。
- **夏場などに長時間、直射日光が当たった場合は、素手で触らないでください。**
直射日光が当たった場合などは、高温になり、火傷をする可能性があります。
- **microSDカード挿入口に手や指を入れないでください。**
けがの原因となることがあります。
- **クリーナーなどのスプレーや水分などを本機にかけないでください。**
両面テープが剥がれリアカメラが脱落するおそれがあります。
- **煙、匂い、発熱、異音等の異常現象がある場合は、ただちに使用を止めて電源をOFFにして下さい。**
- **本機側面・底面のゴムカバーを開けて専用アクセサリ以外の物は使用しないでください。** 発煙、発火、感電、故障につながります。
- **バイク等の運転中に本機の操作はしない下さい。**
本機の操作は運転前か終了後に行ってください。
- **極端な高温や低温でのご使用は、誤動作や故障の原因となります。**
- **本機には必ず仕様に適合したmicroSDカードをご使用してください。**
- **microSDカードを挿入口から挿入してお使いください。**
microSDカードを挿入しないと、本機は動作しません。
- **microSDカードを本機に挿入する場合、向きに注意してください。**
- **microSDカードの抜き差しは必ず電源OFFになっていることを確認して行ってください。**
本機が動作中にmicroSDカードの抜き差しを行うと破損するおそれがあります。
- **microSDカードには本機で記録されるデータ以外を保存しないでください。**
映像や画像が正しく記録されないことがあります。
- **本機を強くたたく、ものをぶつけるなどの強い衝撃をあたえないでください。**
故障や破損の原因となります。
- **本機への直火やドライヤーなどの急激な温度変化を与えると、故障や破損の原因となります。**
- **本機をアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなど揮発性の薬品類で拭かないでください。**
変形や変質、破損の原因となります。

安全上のご注意

- 磨き砂などが配合された洗剤で拭かないでください。
キズの原因となります。
- カメラ・レンズ部分が汚れている場合は、水を含ませた柔らかい布などで軽くふいてください。
乾いた布で強くこするとキズの原因となります。
- 太陽光やヘッドライトなど高輝度の被写体がカメラに映ると、映像素子特有のブルーブルーミング現象※が発生したり、その光源の中心部分が黒く映ることがありますが、カメラの異常ではありません。
※ブルーミング現象:強い光源の周辺や、非常にコントラストの強いシーンを撮影した場合に撮像素子が強い光を受け、飽和して周囲の画素にあふれ出す現象です。
- USBケーブルを傷つけたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりしないで下さい。
- USBケーブルの芯線の露出、断線などがあった場合は、販売店にご相談下さい。
そのまま使用すると、感電、発熱、火災、の原因になります。
- USBケーブルを改造したりしないで下さい。
火災、感電の原因になります。
- USBケーブルは必ず付属のものをご使用ください。また他の製品に使用しないで下さい。
火災、感電の原因になります。
- 本機は内蔵電池として充電式リチウムポリマー電池を使用しています。廃棄の際は、地方自治体の条例または規制を確認してそれに従ってください。

取付上のご注意

- 取付作業は環境の整った、専門知識のある作業者がいる修理工場や車両販売店での取付をおすすめします。
- 商品可動部の調整、部品の組み換え、車体への取り付けと装着は全て使用者本人のリスクにおいて行ってください。
- 取付作業の際は、安全の為、車両側の電源OFF状態で作業し、必要に応じて電源ONで通電等の機能確認をお願いします。
- 作業後は必ず各システムの動作確認(車両側、本製品側)をお願いします。
- 取付後、約50km走行しましたら、各部を点検してネジ部の増締めを行ってください。
- その後は、約100km毎に必ず点検し、同様の増締めを行ってください。

使用上のご注意

本機についての注意事項です。必ずお読みください。

- 本機は事故の検証に役立つことも目的の1つとした製品ですが、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的で使用しないでください。これらの場合には弊社は一切責任を負いません。
- 本機は録画状態で使用することにより映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 録画された画像は事故の証拠として効力を保証するものではありません。
- 故障や本体の使用途中によって生じた損害、及び記録された映像やデータの損害、破損による損害は、法律上の請求の原因の種類を問わずいかなる場合においても本製品の使用または使用不能から生じる損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失又はその他の金銭的損害を含む)に関して、弊社は一切の責任を負わないものとします。
- 本機は常時記録型の映像記録装置です。microSDカードの記録がいっぱいになると古い映像から順に消して新しい映像を記録(上書き)します。事故などでデータが必要な場合は、速やかに車両のエンジンキーをオフにし、microSDカードを抜いてパソコンに保存するなどの対応をお願いいたします。
- 記録した映像を残しておきたい場合は、パソコンのハードディスクにコピーしておくなどの対応をお願いいたします。
- 内蔵バッテリーの劣化などにより、電源電圧が低い場合には、録画は動作しないことがあります。
- 運転者は走行中に本機を注視したり操作しないでください。前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。操作する場合は安全を確保したうえで行うようにしてください。
- 本機が起動中にmicroSDカードを抜かないでください。
microSDカードが破損し、映像を記録できなくなるおそれがあります。microSDカードの破損で映像が記録できない件については、弊社は一切責任を負いません。
- LED式信号機は目に見えない速さで点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は、前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED式信号機が映らない件について弊社は一切責任を負いません。
- 以下の場合などは、映像の記録ができないことがあります。
 - 1.本機にmicroSDカードを挿入していない場合
 - 2.本機からmicroSDカードを抜いた場合
 - 3.本機の仕様に適合するmicroSDカード以外を使用した場合
 - 4.記録した古い映像が、新しい記録によって消されて(上書きされて)しまった場合
 - 5.大きな事故や水没などで本機及びmicroSDカードが損傷を受けた場合
 - 6.大きな事故の場合などで本機内蔵バッテリーが断線した場合
 - 7.低速で衝突、または、相手車両との相対速度が小さい状態で衝突した場合
 - 8.本機の本体が固定されていないなど、本機の取付状態に問題がある場合

本機の防塵・防水性能について

■ドライブレコーダー本体:

本体は、IP65相当の防塵/防水性能 (microSDカード用スロットカバーが完全に装着された状態) (当社試験方法による) を有しておりますが、これは完全防水を保証するものではありません。

耐水圧設計ではありません。

高い水圧で水をかけたり、水中に放置したりなどはしないでください。

防湿設計ではありません。

動作温度の範囲外、湿度の高い環境で長時間 (一時間以上) 使用/保管しないでください。

防水性能が損なわれるおそれがあるため、SDカードスロットやスピーカー・マイクに向けて、水を強く当てないでください。水中に落下させたり、水中で使用したりしないでください。

※防塵・防水性能は当社試験方法によるものです。

※USB Type-C接続コネクタ使用時は防塵・防水性能がなくなります。

■USBケーブル・イヤホン:

本製品に付属するUSBケーブルとイヤホンは防水仕様ではありません。

水がかかる恐れがある場所で使用しないでください。

防水性能は経年劣化しますので、防水性能を維持するために:

- 雨や水しぶきのかかる場所で使用するとき、microSDカード用スロットカバーを確実に閉めてから、必ず付属の「SDカードスロット用保護シール」や市販の防水テープなどで適切な防水処理をお願い致します。



ご注意:
防水性能を維持
するため、
必ず防水処理を
行ってください。

- 異常の有無に関わらず定期的に「SDカードスロット用保護シール」を交換してください。
- ヘアドライヤーを使って本体を乾かすことはしないでください。
microSDカード用スロットカバーから浸水、マイクやスピーカーの内部防水膜を損傷する恐れがあります。
- 洗車時には本製品を外して洗車してください。
- 本体を分解しないでください。
- 使いかたによっては内部に水が入り、火災や感電、故障の原因となるおそれがあります。
各部品への内部浸水/結露による故障は、保証期間内であっても保証対象外となります。
あらかじめご了承ください。

microSDカードについて

- 本機を使用するときは、microSDカードが必要です。
- 使用できるmicroSDカードについて
本書では特にことわりのないかぎり「microSDHCカード」、「microSDXCカード」microSDカードと総称して表示しています。
本機では下記のSD規格に準拠したmicroSDカードに対応しています。
 - ・microSDHCカード： 容量16～32GB、スピードクラス:CLASS10以上
 - ・microSDXCカード： 容量:64～128GB、スピードクラス:CLASS10以上※microSDXCカードを使用する場合は、初めに本機でフォーマットを行ってください。
※全てのmicroSDカードでの使用を保証するものではありません。
- ご使用の際には、必ずmicroSDカードに付属の取扱説明書も合わせてご確認ください。
- microSDカードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。
- microSDカードによっては、挿入、取り外しにくい場合があります。
- microSDカードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- 使用状況によりmicroSDカードの寿命は短くなります。
※寿命となったmicroSDカードはパソコンでも読み込みができなくなるなど、正常にご使用できなくなります。
- 正常に使用していた場合であっても、microSDカードは消耗品のため、定期的に新品交換またはフォーマットすることをおすすめします。
- 長期間フォーマットがされていない場合、デフラグ(断片化)が発生し、正しく録画がされない可能性がありますので、定期的にフォーマットを行ってください。
- フォーマットは本機で行うようにしてください。本機以外の製品やパソコン等によるフォーマットでは正しく録画ができない場合があります。
- microSDカードに異常がある場合、本機でフォーマットができない場合があります。
- microSDカード内へ本機以外のデータを保存しないでください。正常に動作しなくなる場合があります。
- microSDカードエラー発生時は、記録ファイルが復旧できない可能性があります。
- microSDカードの容量や保存されているデータ量によっては、起動時間や録画ファイルの読み込みに時間がかかる場合があります。
- 変形しているmicroSDカードを使用するとエラー発生および故障の原因となります。
- 重大な事故などで本機内部電源が断たれた場合やmicroSDカード自体が破損した場合、記録することができない場合があります。また、記録されているデータが破損する可能性があります。
- 本機の動作温度が仕様外の場合、microSDカードが正常に動作しない場合があります。
- microSDカードの消耗に起因する故障や損傷においては、弊社が保証するものではありません。
- あらゆる事象において破損、消失したデータの復旧サービス等を行っておりません。
- 思わぬ故障や破損等により、データが消失する可能性がありますので、定期的なデータのバックアップをおすすめします。

microSDカードについて

本製品に使用する microSDカードで厚さ 0.8mm以上のものはご使用にならないでください。

■カードスロットが詰まり、正常に取り出せなくなることがあります。

国内正規品の microSDカードのご使用を推奨致します。

推奨microSDカード:

容量:32GB

品番:SD-A32G



容量:64GB

品番:SD-A64G



容量:128GB

品番:SD-A128G



※microSDカードスロットの挿入口には、microSDカード以外のものは入れないでください。

※microSDカードラベルなどを貼らないでください。

内蔵充電式バッテリーについて

本機には3200mAhのバッテリー(リチウムポリマー)を内蔵しております。

充電回数はおよそ300回～500回です。

※利用や保管状態に応じて劣化致しますので、充電回数、動作時間に関わらず電池寿命は保証対象外です。電池特性に合った利用・保管方法をお願いいたします。

■本機を炎天下の屋外や直射日光の強いところなど、高温になる場所に放置しないでください。バッテリー内部で異常な化学反応が起こり、液漏れ、発熱、発煙、膨張、破裂、発火などの原因となります。

■鋭利なもので刺したり、叩いたりしないでください。バッテリーが破裂や変形したりガス漏れなどにより、液漏れ、発熱、発煙、膨張、破裂、発火などの原因となります。

■本機が稼働している状態でなくても、バッテリーは自然放電してしまいます。バッテリー性能に限らず自然放電による、長期の内部電力量の担保には限界があります。購入後は速やかに、本機の充電をしてください。

※バッテリー満充電時の自然放電は目安は約2ヶ月ですが、保証値ではありません。

■過放電は電池寿命を縮め充電出来なくなる場合があります。電池切れの前に充電して下さい。

■本機を長時間使用しない場合は本体から充電ケーブルを外してください。

■本機を長時間使用しない場合はバッテリー残量を50%程度にしてから保管してください。

Type-C接続端子について

■本機の種類はIP65相当の防水/防塵性能を有しておりますが、端子または充電用機器(別売)に水滴や異物が付着している状態では、USB Type-Cプラグを絶対に接続しないでください。

■濡れたり汚れたりしている状態でUSB Type-Cプラグを挿入すると、本機やUSB Type-Cプラグに付着した水分や異物などにより、感電や回路のショート、故障の原因となります。

■Type-C接続端子が濡れている場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってください。

■Type-C接続端子を使用しない時は、必ず異物防止カバーを閉めてください。

GPS測位について

- 本機を初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまで20分以上時間がかかる場合があります。
- GPS電波は地理的要因により受信しにくい場合や受信できない場合があります。
- 走行時にトンネルやビル街などでGPSの電波を受信出来なくなった場合、再度測位するまで時間がかかることがあります
- 走行速度や進行角度、高度などの表示は、GPSの電波のみで計測しています。測位状況によって、実際とは異なる場合があります。また運転中は必ず車両のスピードメーターで速度を確認してください。
- 他の車載電子機器からの漏れ電波により、GPSの電波を受信出来ず、測位しないことがあります。
- 本機の近くで大出力の無線機器を使用しないでください。使用した場合、無線機器の発する電磁波により誤作動等の原因となります。

撮影された映像について

- 本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

本機のお手入れについて

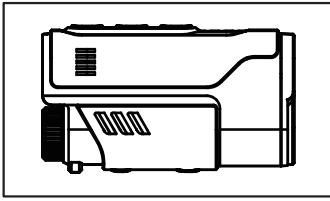
- カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。乾いた布などでふくとキズの原因となります。
- USB Type-C接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えてUSB Type-C接続端子を変形させないでください
- 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
- ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。塗装面を傷めます。

無線LANに関する注意

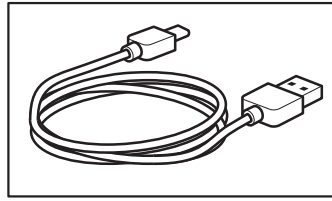
- 本製品は、技術基準適合証明を受けています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。なお、日本国内以外で使用する場合には、各国の電波法に抵触する恐れがあります。
- 本製品のラベルには技術基準適合番号が印刷されています。このラベルは絶対にはがさないでください。はがした状態で使用すると電波法違反となります。
- 分解したり改造したりすることは電波法で禁止されています。絶対におこなわないでください。
- 本製品は 2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。
上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。そのため、本製品の通信ができなくなったり、速度が遅くなったりする場合があります。
- 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに「Wi-Fi」機能の設定をOFFに変更してください。
- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本製品の電源を切ってください。
電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。
- 本製品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカーなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。
電子機器や心臓ペースメーカーなどが誤動作するなどの原因となることがあります。
また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。
- 本製品はすべてのスマートフォンとの接続動作を確認したものではありません。そのためすべてのスマートフォンとの動作を保証するものではありません。

梱包内容の確認

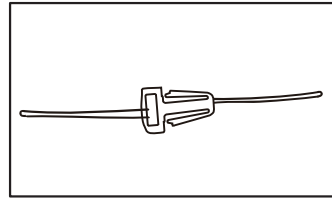
本機の梱包内容は以下の通りです。



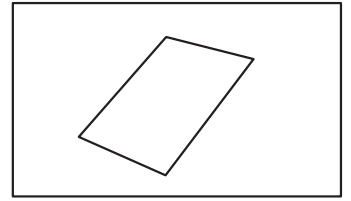
①本体



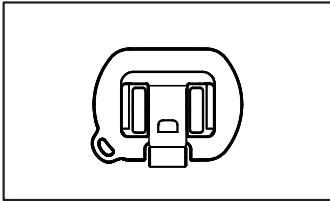
②USBケーブル
(約0.8m/Type-C)



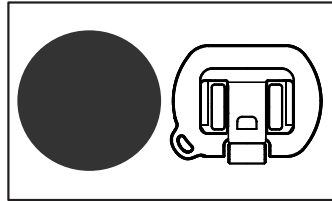
③落下防止ストラップ



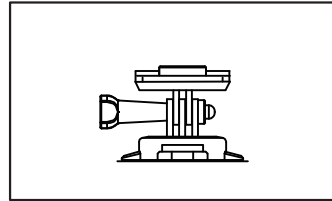
④型紙



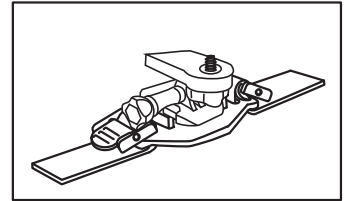
⑤粘着テープ付き
ブラケット



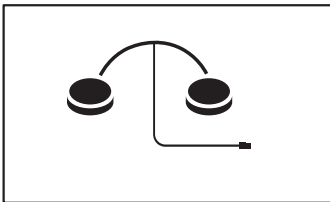
⑥ファスナーテープ付き
ブラケット



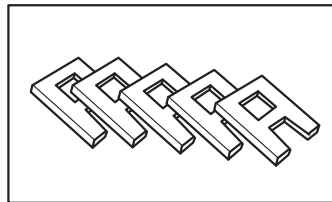
⑦粘着テープ付き
角度調整ブラケット



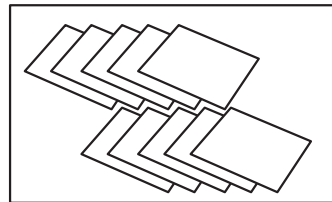
⑧ストラップブラケット



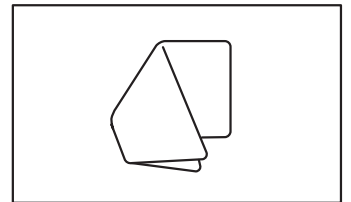
⑨ヘルメット装着型
イヤホン



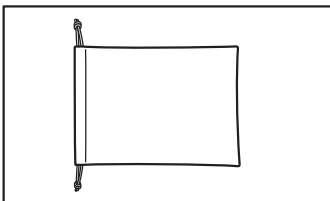
⑩マイク用スポンジ
(風切音軽減) ×5



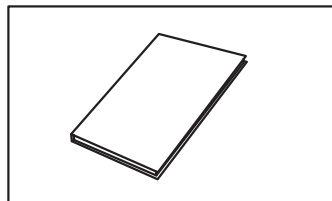
⑪SDカードスロット
用保護シール ×10



⑫クリーンクロス



⑬収納用巾着袋

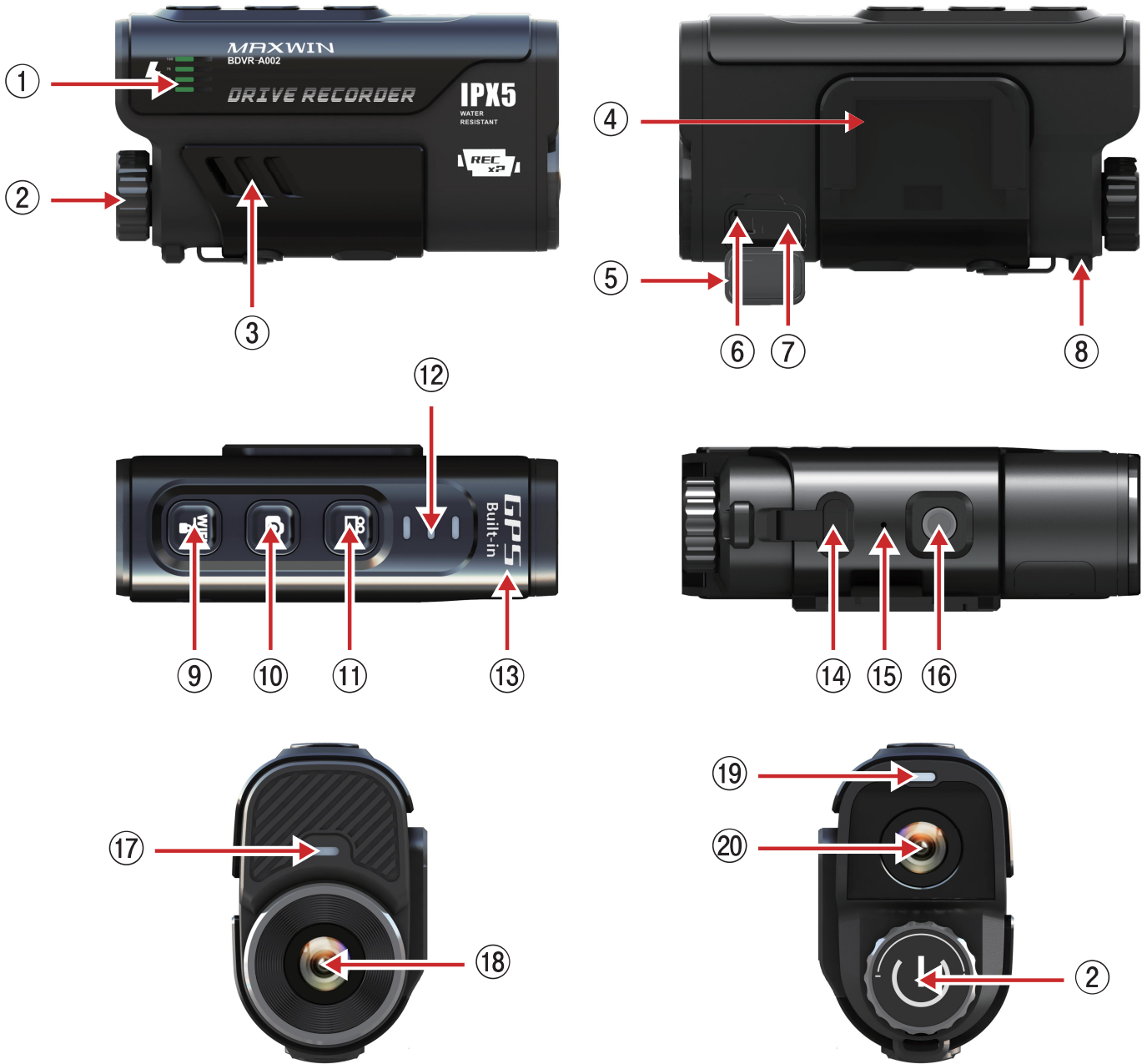


⑭取扱説明書(本書)

各部名称と働き

本機の各部名称は以下の通りです。

■本体



- ① バッテリー残量表示／充電ランプ
- ② 電源ボタン／音量ダイヤル
- ③ スピーカー
- ④ 取付マウント
- ⑤ microSDカード用スロットカバー
- ⑥ リセットボタン
- ⑦ microSDカードスロット
- ⑧ 落下防止ストラップ穴

- ⑨ WiFi・保護ボタン
- ⑩ 静止画ボタン
- ⑪ 録画ボタン
- ⑫ 電源ランプ／WiFiランプ／GPSランプ
- ⑬ GPSアンテナ部
- ⑭ Type-C接続端子
- ⑮ マイク
- ⑯ 三脚穴

- ⑰ 録画ランプA
- ⑱ 録画ランプB
- ⑳ リアカメラ

各部名称と働き

- | | |
|---------------------|---|
| ①バッテリー残量表示／充電ランプ | 内蔵バッテリーの残量を表示します。 |
| ②電源ボタン／音量ダイヤル | 電源をON/OFFします。(電源ON:短押し、電源OFF:長押し)
左や右へダイヤルを回し、スピーカーの音量を調節します。 |
| ③スピーカー | 音声ガイダンスを出力します。(モノラル) |
| ④取付マウント | 本機を付属の取付ブラケット(ストラップブラケット以外)に取り付けます。 |
| ⑤microSDカード用スロットカバー | microSDカードスロットはカバーを開けた内側にあります。 |
| ⑥microSDカードスロット | microSDカードを挿入して、撮影データを保存します。 |
| ⑦リセットボタン | 電源の入/切ができないなど、本製品が正常に動作しない時などにクリップのようなものを使って押ししてください。 |
| ⑧落下防止ストラップ穴 | ストラップを取り付けられます。 |
| ⑨WiFi・保護ボタン | 録画停止の時に押すと無線LAN(Wi-Fi接続モード)をON/OFFします。録画の時に押すと録画中の映像を保護します。 |
| ⑩静止画ボタン | 録画の時に押すと静止画撮影します。 |
| ⑪録画ボタン | 録画の時に押すと録画を停止します。もう一度押すと、録画を再開します。
録画停止状態で長押しするとmicroSDカードをフォーマットできます。 |
| ⑫電源ランプ | 電源と録画の状態をランプ(赤色)でお知らせします。 <ul style="list-style-type: none">●電源オフ:消灯●電源オン-録画中:点滅●電源オン-録画停止:点灯 |
| ⑫WiFiランプ | Wi-Fiの接続状態をランプ(黄色)でお知らせします。 <ul style="list-style-type: none">●Wi-Fi機能オフ:消灯●Wi-Fi機能オン-未接続:点滅●Wi-Fi機能オン-接続中:点灯 |
| ⑫GPSランプ | GPSの受信状態をランプ(緑色)でお知らせします。 <ul style="list-style-type: none">●GPS機能オフ:消灯●GPS機能オン-未受信:点滅●GPS機能オン-受信:点灯 |

各部名称と働き

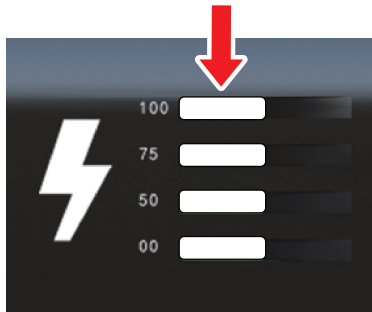
- | | |
|-------------|---|
| ⑬GPSアンテナ部 | GPS機能を利用する際のアンテナが内蔵され、GPS衛星からの電波を受信します。 |
| ⑭Type-C接続端子 | 本機を充電する・パソコンと接続するときに、付属のUSB(Type-C)ケーブルを接続します。 |
| ⑮マイク | 音声を入力します。 |
| ⑯三脚穴 | 本機をアクセサリや三脚などに取り付けます。 |
| ⑰録画ランプA | 本機の録画状態をランプ(青色)でお知らせします。 <ul style="list-style-type: none">●録画中:点滅●録画停止:点灯●ファームウェアの更新中:高速点滅 |
| ⑱フロントカメラ | 固定焦点レンズです。
※ご購入時は保護フィルムが貼ってあります。ご使用時にはがしてください。 |
| ⑲録画ランプB | 本機の録画状態をランプ(青色)でお知らせします。 <ul style="list-style-type: none">●録画中:点滅●録画停止:点灯●ファームウェアの更新中:点灯 |
| ⑳リアカメラ | 固定焦点レンズです。
※ご購入時は保護フィルムが貼ってあります。ご使用時にはがしてください。 |

バッテリー残量表示ランプ

バッテリー残量表示ランプは、外部電源接続なしの状態で使用する時に推定される電池量を表示します。

外部電源に接続した状態ではバッテリーの充電状態を確認できます。

バッテリー残量表示ランプ



●バッテリー駆動時の表示

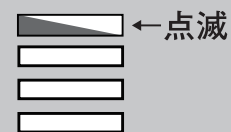
バッテリー残量表示ランプ		バッテリー残量
点灯	消灯	
		約75%以上
		約74%以下
		約50%以下
		約25%以下 ※充電してください。

ご注意

バッテリー残量の確認は目安としてご利用ください。

使用環境によって推定される電池残量が増減する場合があります。
バッテリー残量がしきい値に到達した際、バッテリー残量表示ランプが短時間点滅する場合があります。

《例》バッテリー残量の推定値:約74%



●充電時の表示

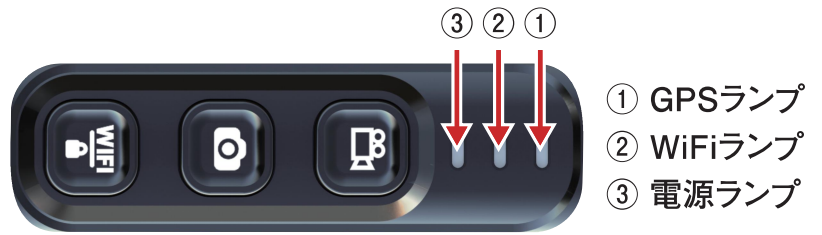
バッテリー残量表示ランプ	
点灯	消灯

●充電完了時の表示(電源オフ)

バッテリー残量表示ランプ	
点灯	消灯

LED表示/バイブレーション/音声ガイダンスによる通知


































本機が正常に動作している場合のLED状態、バイブレーション、音声ガイダンスについて説明します。












消灯 点滅 点灯

LED表示	バイブレーション	音声ガイダンス	状態について
① GPS ② WiFi ③ 電源	2回	—	本体の電源ONにしました。
① GPS ② WiFi ③ 電源	1回	「録画を開始します」	録画を正常に開始します。
① GPS ② WiFi ③ 電源	—	—	GPS信号の補足を開始し、まだ受信完了していません。
① GPS ② WiFi ③ 電源	2回	「GPS信号を受信しました」	GPS信号を補足に成功しました。
① GPS ② WiFi ③ 電源	2回	「映像を保護しました」	手動で録画中の動画をロックしました。
① GPS ② WiFi ③ 電源	—	「映像を保護しました」	録画途中で振動を検出した動画をロックしました。
① GPS ② WiFi ③ 電源	1回	「録画を停止します」	録画を正常に停止します。 ※無操作の状態が約3分間続くと、本機の電源が自動的に切れます。
① GPS ② WiFi ③ 電源	2回	「Wi-Fi機能:ON」	Wi-Fi接続モードをONにしました。
① GPS ② WiFi ③ 電源	—	「Wi-Fiに接続しました」	その他のデバイス(スマートフォンなど)とWiFi接続しました。

LED表示/バイブレーション/音声ガイダンスによる通知

LED表示	バイブレーション	音声ガイダンス	状態について
① GPS  ② WiFi  ③ 電源 	2回	「Wi-Fi機能:OFF」	Wi-Fi接続モードをOFFにしました。
① GPS  ② WiFi  ③ 電源 	3回	「電源接続が切断されました」	充電ケーブルを取り外しました。
① GPS  ② WiFi  ③ 電源 	2回	「録画を停止します」 「システムを終了します」	録画を停止し、本体の電源をOFFにします。
① GPS  ② WiFi  ③ 電源 	1回	「フォーマットを開始します」	「録画ボタン」を長押しし、読みエラーのmicroSDカードをフォーマットします。
① GPS  ② WiFi  ③ 電源 	1回	「フォーマットを完了しました」	「録画ボタン」を長押しし、読みエラーのmicroSDカードをフォーマット完了しました。
① GPS  ② WiFi  ③ 電源 	1回	「フォーマットに失敗しました」	「録画ボタン」を長押しし、読みエラーのmicroSDカードをフォーマットできませんでした。
① GPS  ② WiFi  ③ 電源 	—	「ローバッテリー、充電してください」	バッテリーの残量が少なくなっています。
① GPS  ② WiFi  ③ 電源 	1回	「SDカードがいっぱいです」	microSDカードの容量が一杯になりました。※「上書きループ録画:OFF」設定時のみ案内し、録画は自動的に停止します。
① GPS  ② WiFi  ③ 電源 	3回	「SDカードがありません。システムを終了します」	microSDカードが挿入されていません。 ※本機の電源が自動的に切れます。
① GPS  ② WiFi  ③ 電源 	—	「SDカードをフォーマットしてください」	microSDカードの読みエラー、「録画ボタン」を長押しし、microSDカードをフォーマットする必要があります。
① GPS  ② WiFi  ③ 電源 	—	「アップデートが完了しました」	ファームウェアアップデートが正常に完了しました。

LED表示/バイブレーション/音声ガイダンスによる通知

LED表示	バイブ振動	音声ガイダンス	状態について
① GPS  ② WiFi  ③ 電源 	—	「長時間運転です。そろそろ休憩しませんか？」	長時間運転を検出しました。
① GPS  ② WiFi  ③ 電源 	—	「制限速度は〇〇km/hです」	「速度アラーム」で設定した速度を超えたことを検出しました。
① GPS  ② WiFi  ③ 電源 	—	「ディディディ。この先、スピードに注意してください。制限速度は〇〇km/hです」	スピードの出し過ぎに注意すべき場所に接近しています。

本機の充電

お買い上げ後、はじめて使用する場合、また長時間使用しなかった場合は、以下の手順で充電してから使用してください。

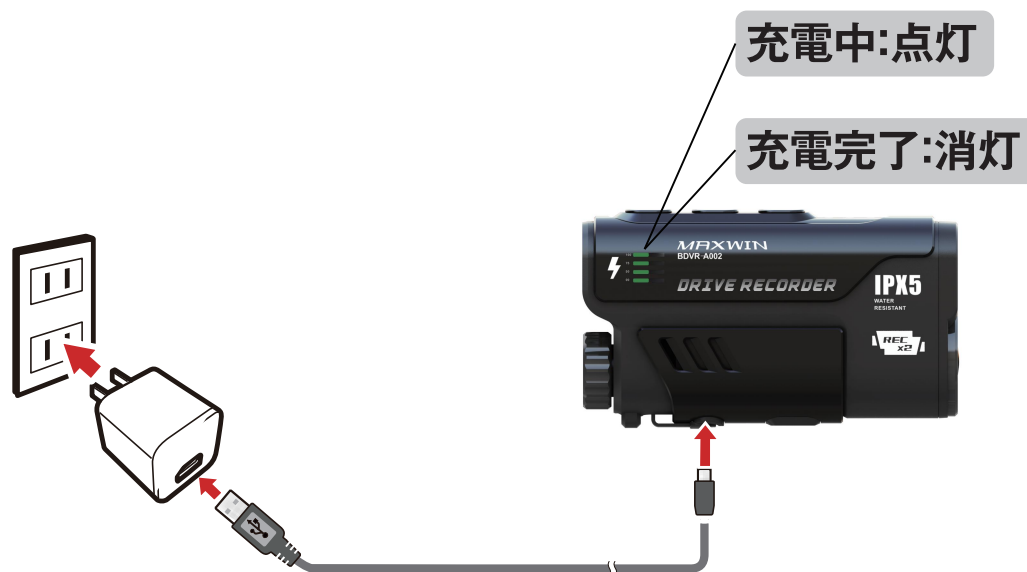
- 【1】本機と付属のUSBケーブル、市販のACアダプタ(定格出力5V-2.0Aのもの)を用意します。
- 【2】本機下側のキャップを外します。
- 【3】付属のUSBケーブルを使用して、本体と市販のACアダプタを接続し、ご家庭のコンセントに接続します。
- 【4】本機の電源をOFFにしてください。
- 【5】充電が完了したら、ACアダプタから本体を取り外してください。

※充電は周囲の温度が10℃～30℃のところで行うことをお勧めします。

※内蔵バッテリーの残量が少ない状態で使用すると、車両などから電源供給する場合であっても本体が正常に作動しない場合があります。

※水がかかる恐れのある場所で充電しないでください。

※端子に水分が付着している場合は、よく乾かしてから接続してください。



ご注意

- 付属品のUSBケーブル端子は、嵌合が固めです。抜き差しする際は十分ご注意ください。
- 端子部に無理な力が加わると、本体およびケーブルのUSB端子部が変形/破損する原因となります。
- microSDカード挿入状態で充電する際は、ご家庭のコンセントに接続後、必ず本体の電源をOFFにして行ってください。
- 充電が完了したら、必ずACアダプタから本機を取り外してください。コンセントに接続したまま放置すると、内蔵バッテリーの劣化の原因となります。

microSDカードの挿入・取り出し

本機はmicroSDカードに動画や写真を記録することができます。

microSDカードスロットのカバー※を開くと、microSDカードスロットが見えます。

※microSDカードを取り付ける/取り外すときは、必ず電源を切ってから行ってください。

■microSDカードを挿入する

- 1.本機の電源を「OFF」にする。
- 2.本体左側のmicroSDカードスロットカバーを開け、メモリーカードの印字面を表面にして“カチッ”と音がするまで挿入する。



■microSDカードを取り出す

- 1.本機の電源を「OFF」にする本体左側のmicroSDカードスロットカバーを開け、microSDカードを“カチッ”と音がするまで押し取り出し、カードが飛び出たら引き抜く。
※カードを取り出す際に飛び出すことがありますので、紛失にご注意ください。



- microSDカードスロットカバーを閉じたときは、カバー先端のツメをドライブレコーダー本体に差し込むようにしてから、カバーの中央部を押さえながらカバーをしっかり閉じてください。
- 雨や水しぶきのかかる場所で使用するとき、microSDカード用スロットカバーを確実に閉めてから、必ず付属の「SDカードスロット用保護シール」や市販の防水テープなどで適切な防水処理をお願い致します。
- 高速道路や振動の多いところで使用する場合は、microSDカード用スロットカバーを確実に装着しないと走行中にカバーが外れてしまう恐れがあります。その場合は、カバーの上に付属の「SDカードスロット用保護シール」を貼ってください。
- microSDカードの使用時間に応じて、定期的にフォーマットするようにお願いします。



ご注意

microSDカードを取り出し/交換する際、引っ掛かりがある状態での作業は行なわないでください。無理な力が加わるとmicroSDカードスロットが破損します。

microSDカードのフォーマット(初期化)

本製品ではじめて使用されるmicroSDカードは、必ず本製品でフォーマットを行なってください。

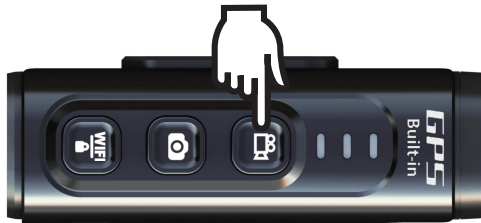
また、microSDカードは消耗品のため、定期的にフォーマットまたは新品への交換が必要です。定期的にフォーマットをしないと、エラーの原因になります。

■異常状態のmicroSDカードをフォーマットする

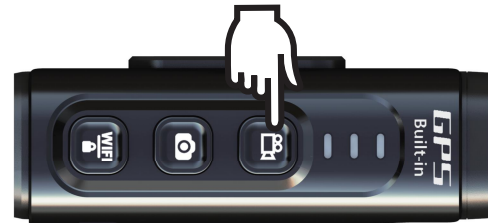
本機はmicroSDカードの異常を検出した場合は、「SDカードをご確認ください。」という音声ガイダンスが流れます。録画ボタンを押し続けると「microSDカードをフォーマットします。」という音声ガイダンスが流れ、フォーマットが始まります。

※異常状態の音声ガイダンスが出力されない場合も、録画を停止してから録画ボタンを長押しすることで、microSDカードをフォーマットできます。

①録画を停止する
録画ボタン:短押し



②フォーマットする
録画ボタン:長押し



■認識済のmicroSDカードをフォーマットする

専用スマートフォンアプリを利用してmicroSDカードをフォーマットすることもできます。



ご注意

- microSDカードは1~2週間を目安に定期的なフォーマットを実施してください。
- SDフォーマットをしても異常が起こる・フォーマットできないなどの症状が出た場合は、SDカードを交換してください。
- microSDカードの寿命は概ね3ヶ月から1年程度です。
- ドライブレコーダーのご使用状況(ご使用時間)によりmicroSDカードの寿命は変動します。

電源のON/OFF

■電源を入れる

電源ボタンを短押しすると本機が電源ONになり、録画を開始します。
また、本機は外部電源入力に連動して電源ONになります。



電源ボタンを押す: 電源ON

または



電源入力: 電源ON



ご注意

- microSDカードが挿入されなかった場合に自動で電源が切れます。

■電源を手動で切る

電源ボタンを3秒以上押すと電源が切れます。



電源ボタンを3秒以上押す: 電源OFF

ご注意

- 電源ONになっても操作できない状態が続くときは、「リセットボタン」を押して本機を復帰させてください。

■「自動電源オフ」機能について

外部電源が遮断されてから設定した時間※を経過すると、本機の電源をOFFにします。

※自動電源オフ時間:10秒「オフ」/1分/10分/30分



外部電源遮断

一定時間(10秒「オフ」/1分/10分/30分)振動が感知されない場合



自動で電源を切る

ご注意

- 「自動電源オフ」機能動作中に振動を検出すると、自動で設定した時間を延長します。

Wi-Fi接続モードのON/OFF

■Wi-Fi接続モードをONにする

録画を停止してから、Wi-Fi・ロックボタンを押すと、Wi-Fi接続モードをONすることができます。

- ① 録画を停止する
録画ボタン:短押し



- ② Wi-Fi接続モードをONにする
WiFi・ロックボタン:短押し



■Wi-Fi接続モードをOFFにする

録画を停止してから、WiFi・ロックボタンを押すと、Wi-Fi接続モードをOFFすることができます。

- ① 録画を停止する
録画ボタン:短押し



- ② Wi-Fi接続モードをOFFにする
WiFi・ロックボタン:短押し



また、電源OFFと同時にWi-Fi接続モードが終了します。

ご注意

- 「自動録画(Wi-Fi接続)」機能をOFFにした場合は、Wi-Fi接続モードを終了した後に自動的に録画を開始しませんのでご注意ください。

専用アプリのインストール

「録RecordV2」をスマートフォンにインストール

App Store(iOS)またはGoogle Play (Android) の公式アプリストアの検索画面から「録RecordV2」と入力し、検索してインストールしてください。

	Android向けアプリ	iOS向けアプリ
対応OS	Android 9.0以上※	iOS 12.0以降※
インストール手順	<p>1) Android端末をネットワークに接続する</p> <p>2) 「GooglePlayストア」アプリを選択する</p> <p>3) 検索フィールドに“録RecordV2”と入力する ▶ QRコードから</p>  <p>4) “録RecordV2”を選び、インストールする</p>  <p>≧メニューにアイコンが追加されます。</p>	<p>1) iOS端末をネットワークに接続する</p> <p>2) 「AppStore」アプリを選択する</p> <p>3) 検索フィールドに“録RecordV2”と入力する ▶ QRコードから</p>  <p>4) “録RecordV2”を選び、インストールする</p>  <p>≧メニューにアイコンが追加されます。</p>

ご注意

対応OSは変更する場合があります。

- 最新のバージョンをお使いください。
- お使いのスマートフォンによっては、正しく動作しない場合があります。
- スマートフォンの4G/5G回線を利用してアプリケーションをダウンロードしたり、動画や静止画を転送したりする場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。

スマートフォンと接続する

お使いのスマートフォンを本機のWi-Fiに接続します。接続方法はスマートフォンの取扱説明書に沿ってWi-Fi接続を行ってください。

※本機のWi-Fiは「BDVR-A002-」から始まるネットワーク名 (SSID) で表示されます。

初期パスワード「12345678」を入力して接続できます。

【1】「録RecordV2」アプリを起動

【2】中央の「ドライブレコーダーと連携」ボタンをタッチ → スマートフォンと連携する

1. スマートフォンと本機を無線LANで接続する

本機の録画を停止してから、Wi-Fiボタンを短押し、

Wi-Fi接続モードをONにします。

スマートフォン本体の設定から、スマートフォンの無線LAN (Wi-Fi) をONにします。

スマートフォンに表示されている接続先 (SSID) 一覧から「BDVR-A002-#####」を選択し、パスワードを入力します。

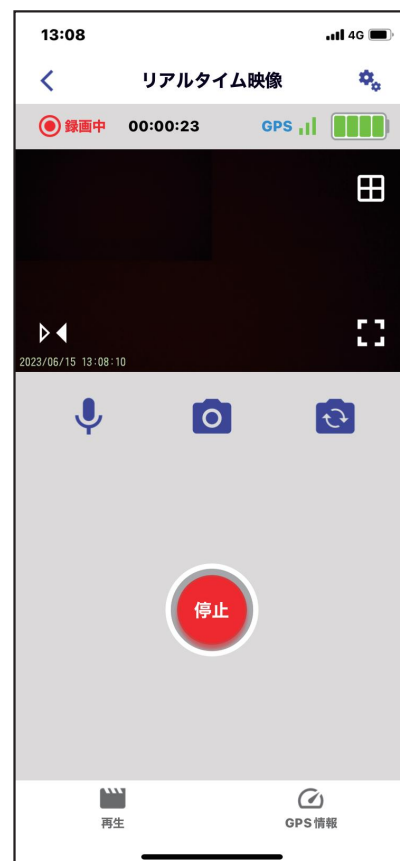


本機のWi-Fiランプ点灯と、音声ガイダンス「Wi-Fi接続しました。」を確認したら、Wi-Fi接続完了状態になります。

2. 専用スマートフォンアプリと連携する

専用アプリ「録RecordV2」を起動し、画面中央の「ドライブレコーダーと連携」ボタンをタッチすると、本機はスマートフォンアプリと連携します。

本機の撮影角度や時計の確認が出来る「リアルタイム映像」画面が自動的に表示されます。



日付と時刻について

本機の日付と時刻は動画ファイルや写真ファイルのファイル名として反映されます。また、「ビデオスタンプ」の設定がONの場合はカメラ映像画面にも時計が表示されます。

1.GPSの電波を受信すると、時刻が自動で補正します。

- ※本機の内蔵時計は仕様上、一定の誤差が生じます。そのため、GPS機能をOFFにしてご使用する場合は、実際の時刻と録画される時刻がずれることがあります。
- ※GPSの電波を受信することにより自動的に時刻同期されますが、GPSの電波受信までの録画/静止画ファイルに記録される時刻にずれが生じることがあります。



GPS受信完了:点灯

2.スマートフォンやタブレットなどに無線LAN (Wi-Fi) を接続すると、自動的に時刻同期されます。

- ※時刻ズレ防止のため、定期的に専用スマートフォンと連携することをおすすめします。と、自動的に同期されます。



Wi-Fi接続で
日時同期する



録画方式

本機には、「常時録画モード」「緊急録画モード(手動・衝撃検知)」「駐車監視録画モード(衝撃検知)」の3つの録画モードがあります。

■常時録画モード

本機の電源が入ってから切れるまでの映像を1分/3分/5分ごとに記録します。常時録画中に録画ボタンを押すと録画を停止し、録画待機モードになります。再度録画ボタンを押すと録画を再開します。映像ファイルは常時録画域(Movieフォルダ)に記録します。

《例》ループ録画(上書き録画):ON



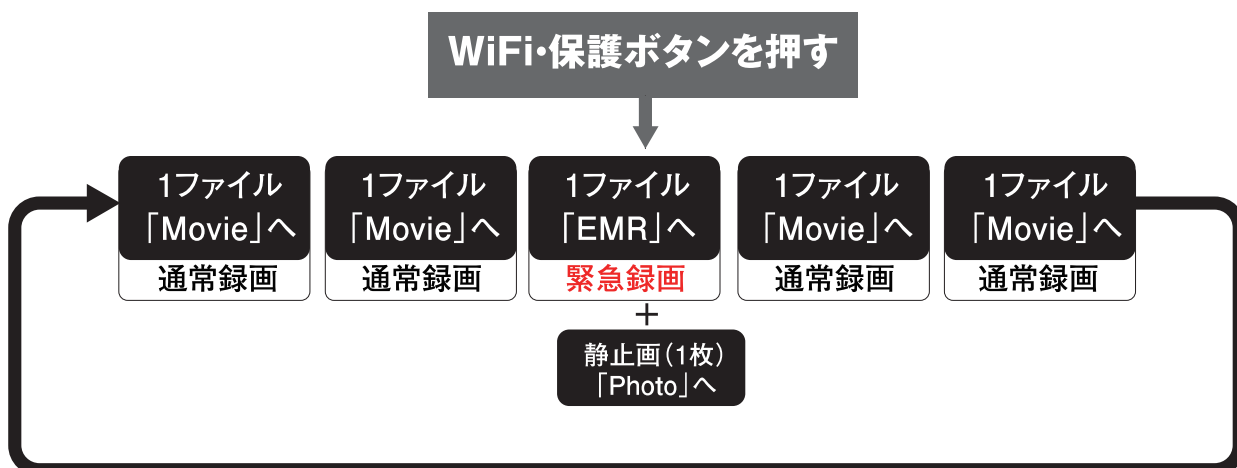
■緊急録画モード(手動・衝撃検知)

映像ファイルを保護する条件(手動・衝撃検知)によって、ファイルの保存方法が異なります。

●手動録画

常時録画モード中にWiFi・保護ボタンを押すと、録画中の映像ファイルをイベント録画域(EMRフォルダ)に記録します。同時に静止画(1枚)を撮影します。事故が発生しても、衝撃が弱いなどの原因で衝撃を検知できない場合があります。その場合やあおり運転されたシーンなど衝撃が無い場合でも手動録画しておく、再生時に録画したデータを探しやすくなります。

《例》ループ録画(上書き録画):ON

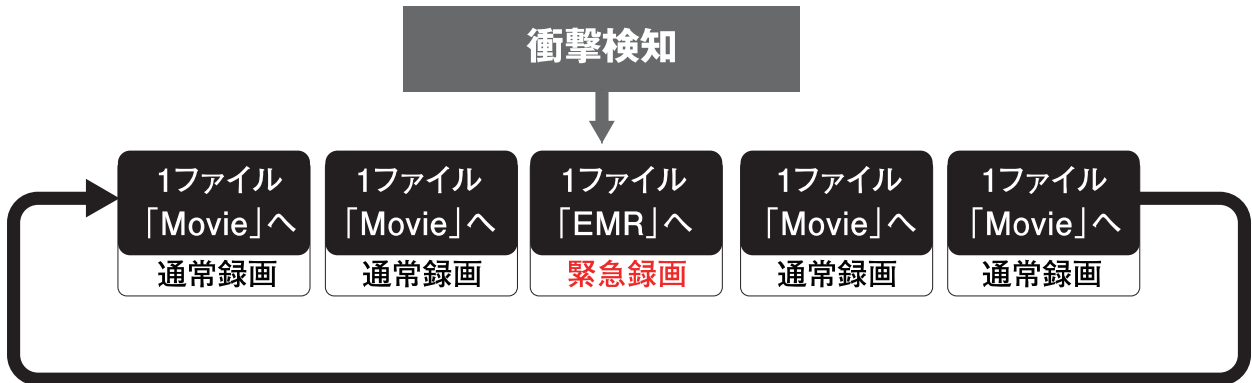


録画方式

●衝撃検知録画

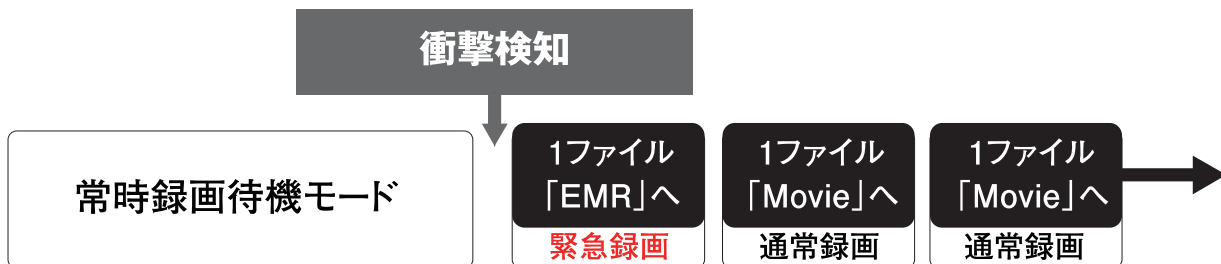
常時録画モード中に本機のGセンサーが衝撃を検知すると、録画中の映像ファイルをイベント録画域 (EMRフォルダ) に記録します。

《例》ループ録画 (上書き録画): ON



録画待機モード (録画停止状態) で衝撃を検知すると緊急録画モードが動作し、1つの緊急録画を記録した後に常時録画モードへ移行します。

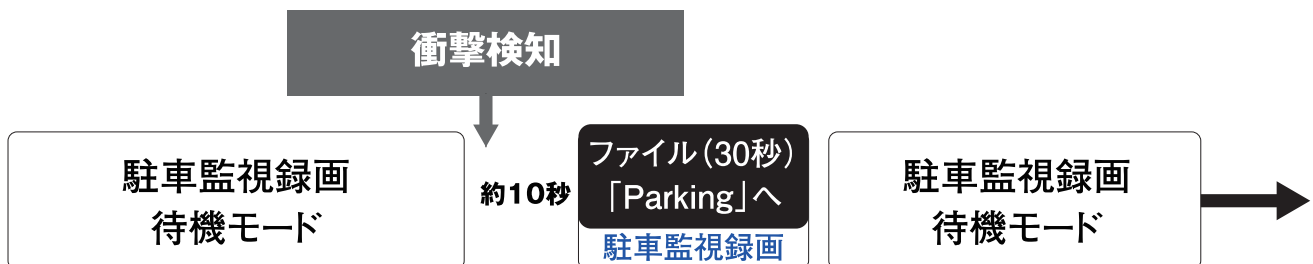
《例》ループ録画 (上書き録画): OFF



■駐車監視録画モード (衝撃検知)

駐車監視録画待機モード (電源OFF状態) 中に本機のGセンサーが衝撃を検出した約10秒後に30秒の映像ファイルを駐車監視録画域 (Parkフォルダ) に記録します。

《例》ループ録画 (上書き録画): OFF



ヘルメットに取り付ける

■装着可能なヘルメット

付属品の取付ブラケットを利用し、以下の条件が満たされているヘルメットに取り付け可能です。

- 取付ブラケットを貼る範囲に凹凸がないこと※
※粘着テープ付きブラケットをご使用する場合
- サイクリング用のヘルメットなど、通気孔が並列に2箇所以上あること※
※ストラップブラケットをご使用する場合
- 本体を取り付ける範囲に突起物がないこと
- サンバイザースイッチを含め、システムヘルメット、ゴーグルベルトや固定パーツがあるヘルメットの場合、その動作を干渉しないこと

■取り付け位置について

取付前に本機に取付マウントをセットし、適切な位置をご選択ください。

- ヘルメットに当てて、接着面の隙間がない位置
- 専用のスマートフォンアプリを使用して撮影角度を確認し、運転者の視界を遮らない位置



ご注意

- 本体は、ヘルメット右側面や上面側に取り付けられるように設計されていますが、お客様のご使用用途により任意の場所に取り付けて下さい。
- 内蔵GPSアンテナは衛星からの電波を受信し易いように、フロントカメラの上部のGPSマーク(GPS Built-in)が上になるように取り付けてください。
- 各種アンテナ(ラジオ、GPS)、インカム、アクションカメラ、レーダー探知機など、各種電子機器の近くには取り付けないでください。
- 金属や金属コーティングされた部品等で覆われている場所には取り付けないでください。

■取り付け作業をおこなう前に

- 取り付ける前に構成部品をご確認ください。
- 取り付けには、養生テープ、マスキングテープ、脱脂剤、布きれ、保護メガネ、保護手袋が必要です。
- 異常発生時やお問い合わせはまず、購入された販売店、またはサポートにご相談ください。お客様による修理/分解は、絶対おやめください。

■作業の進め方

- 1.同梱物を確認します。
- 2.本体にmicroSDカード(別売)を挿入します。
- 3.取付前に動作確認します。
- 4.取付位置の見当を付け、取り付け場所を清掃します。
- 5.専用スマートフォンアプリを使用して、カメラの撮影画像を確認しながら取り付け位置調整します。
- 6.取付ブラケットをヘルメットに取り付けます。※
※粘着テープ付きブラケットを使用する場合は、貼ってから24時間程度ブラケットに力が加わらない状態で待ちます。
- 7.取付ブラケットをしっかりと固定してから、本体を取付ブラケットに取り付けます。
- 8.脱落防止ストラップを結合させます。
- 9.必要な場合は、スポンジを本体に貼り付けます。

ご注意

- 作業を始める前に周囲の安全を確保し、安定した場所で車両の転倒やケガなどに十分注意して作業を行なってください。
- 運転操作や車両の可動部に干渉しないように取り付けてください。
- 粘着テープを使用して固定する時はアルコールクリーナー等で取付面に付着している油分などを取り除いてください。
- 取付面の温度が低い時は、接着力を上げるためドライヤー等で暖めてから作業を行ってください。
- 粘着テープは貼り直しをしないでください。極度に接着力が低下します。
- 接着硬化まで約24時間を要します。完全に接着するまでご利用しないでください。
- 本製品を分解、改造しないでください。保証対象外になります。
- 本機の落下や脱落による破損、損失、故障は、保障範囲から外れます。十分注意して取り付けてください。
- 商品可動部の調整、部品の組み換え、ヘルメットや車体への取り付けと装着は全て使用者本人のリスクにおいて行ってください。
- 作業後は必ず各システムの動作確認(ヘルメットまたは車両側、本製品側)をお願いします。
- 取付後、約50km走行しましたら、各部を点検してネジ部の増締めを行ってください。
- その後は、約100km毎に必ず点検し、同様の増締めを行ってください。

■粘着テープ付きブラケットを使用する場合

■取り付け方

1. ブラケット裏面の粘着テープフィルムをはがしたら決めた取り付け位置にしっかり押し付けます。



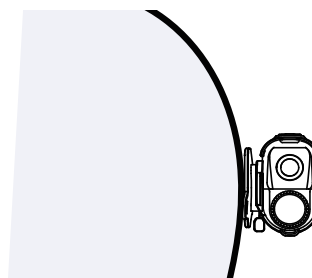
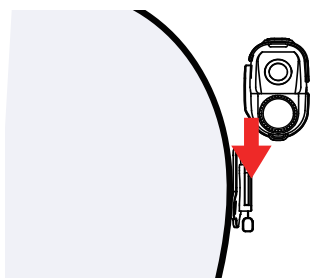
粘着テープ付きマウントの取付については、型紙をご使用することを推奨します。



※装着の強度を確保するため、接着面の隙間がないことをしっかり確認してください。
※接着後24時間は取付ブラケットに負荷を掛けないでください。

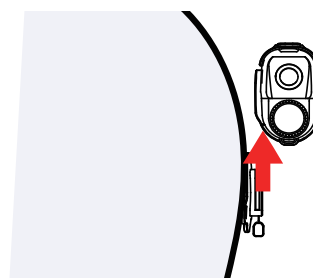
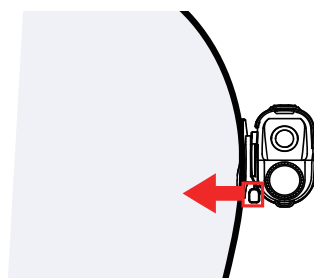
2. 本機をブラケットの取り付け部に「カチッ」と音がするまで差し込みます。

※本機の操作ボタンが上側になるように差し込んでください。



■取り外し方

取付ブラケットのロックレバーをヘルメット側に倒しながら本機を抜いてください。



ご注意

- 取り付けの作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。カメラのレンズを直接手で触らないでください。また、鋭利な工具がレンズにあたらないように注意してください。
- 貼り直しはテープの粘着力が弱まります。確実に装着しないと走行中に落下する恐れがあります。
- 本機の落下や脱落による破損、損失、故障は、保障範囲から外れます。十分注意して取り付けてください。
- 本体を取り付ける・取り外される際等、樹脂パーツを破損しないよう丁寧にお取り扱いください。

■ファスナーテープ付きブラケットを使用する場合

■取り付け方

1.マジックテープの粘着テープフィルムをはがしたら決めた取り付け位置にしっかり押し付けます。

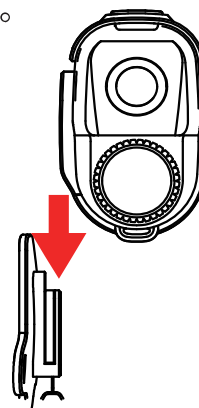
※装着の強度を確保するため、接着面の隙間がないことをしっかり確認してください。

※接着後24時間は取付マウントに負荷を掛けないでください。

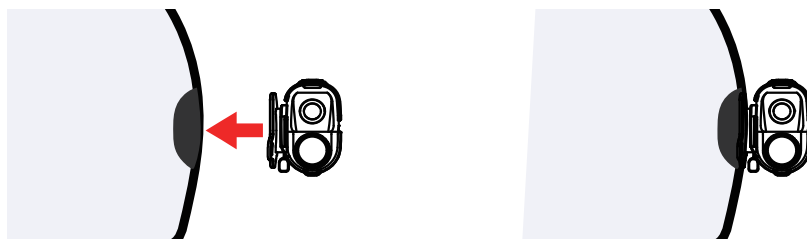


2.本機をブラケットの取り付け部に「カチッ」と音がするまで差し込みます。

※本機の操作ボタンが上側になるように差し込んでください。

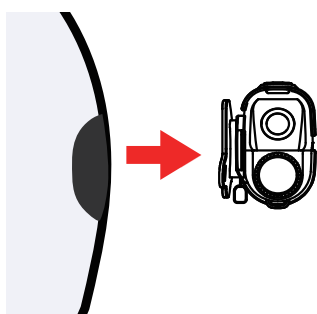


3.マジックテープのファスナー面の位置を確認し、本体ごとしっかりと押し付けて固定します。



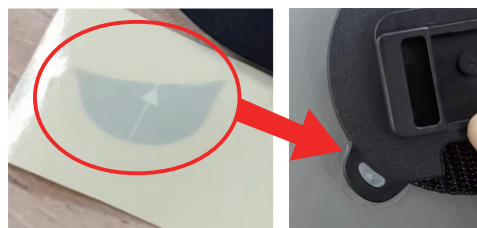
■取り外し方

取付ブラケットに角度をつけてブラケットごと取り外します。



※取り付け位置の目印として取付ガイドシールを貼ることをおすすめします。

取付ガイドシールは半円型の粘着シールです。ヘルメットに貼付けると、適切な取り付け角度を記録することができます。



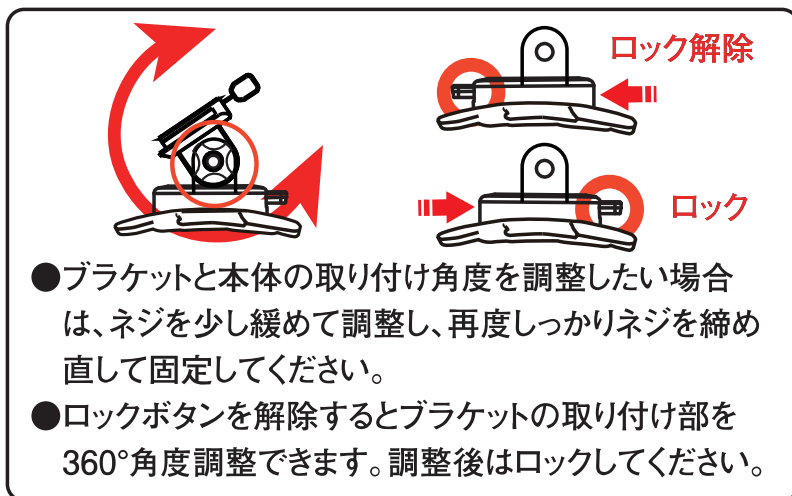
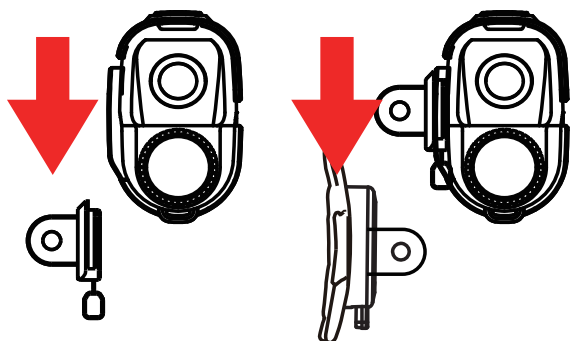
ご注意

- 取り付けの作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。カメラのレンズを直接手で触らないでください。また、鋭利な工具がレンズにあたらないように注意してください。
- 貼り直しはテープの粘着力が弱まります。確実に装着しないと走行中に落下する恐れがあります。
- 本機の落下や脱落による破損、損失、故障は、保障範囲から外れます。十分注意して取り付けてください。
- 本体を取り付ける・取り外される際等、樹脂パーツを破損しないよう丁寧にお取り扱いください。

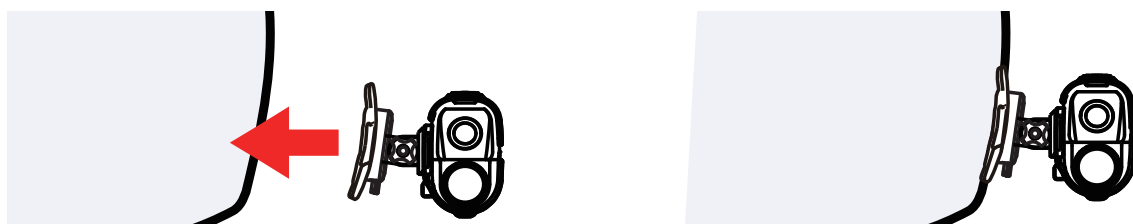
■粘着テープ付き角度調整ブラケットを使用する場合

■取り付け方法

1.本機をブラケットの取り付け部に「カチッ」と音がするまで差し込み、付属のネジを利用してマウントのベース取り付けます。



2.ブラケット裏面の粘着テープフィルムをはがしたら決めた取り付け位置にしっかり押し付けます。



■取り外し方

取付ブラケットのロックレバーをヘルメット側に倒しながら本機を抜いてください



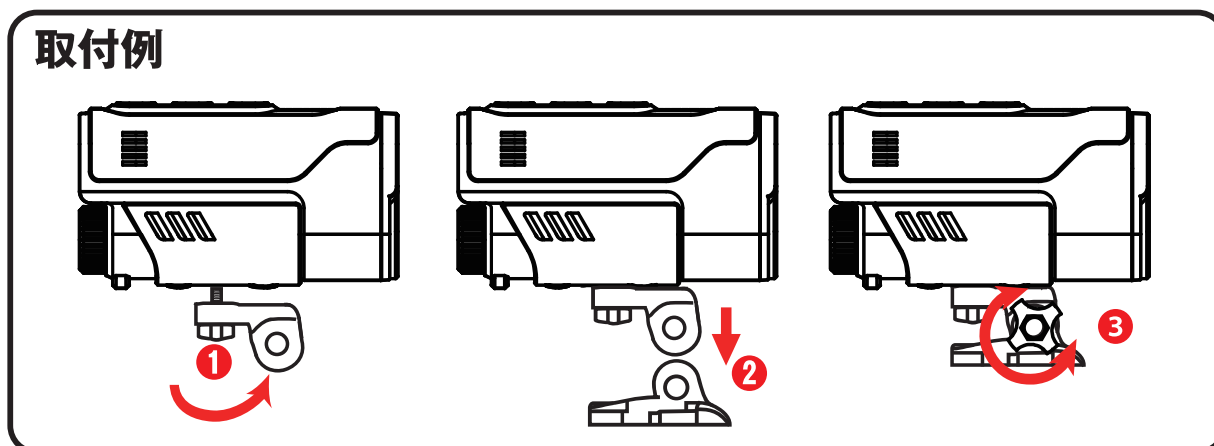
ご注意

- 取り付けの作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。カメラのレンズを直接手で触らないでください。また、鋭利な工具がレンズにあたらないように注意してください。
- 貼り直しはテープの粘着力が弱まります。確実に装着しないと走行中に落下する恐れがあります。
- 本機の落下や脱落による破損、損失、故障は、保障範囲から外れます。十分注意して取り付けてください。
- 本体を取り付ける・取り外される際等、樹脂パーツを破損しないよう丁寧にお取り扱いください。

■ストラップブラケットを使用する場合

■取り付け方法

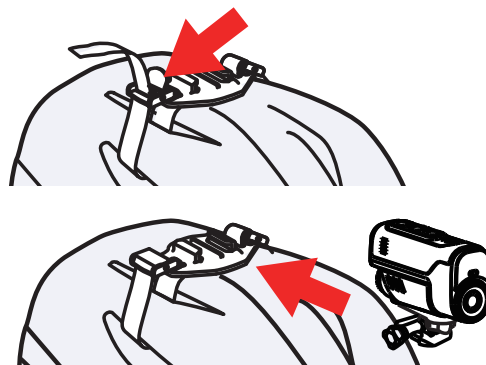
1.本機底部のネジを利用して、本機にバックルを取り付けてください。



2.ヘルメットの穴にバンドをくぐらせて、ブラケットにバンドを通してからロックレバーを倒してバンドを留めます。

※バンドにゆるみがなく、しっかりと固定されていることを確認してください。また、バンドの長さが余った場合は、バンドの先をヘルメットの中に入れたり、バンドに巻付けたりするなどし、邪魔にならないようにしてください。

3.カチッと音がして固定されるまでバックルごとをブラケット側にスライドさせます。



■取り外し方

バックルの爪を左右指で押さえてロックを解除し、バックルごとをスライドさせて取り外します。



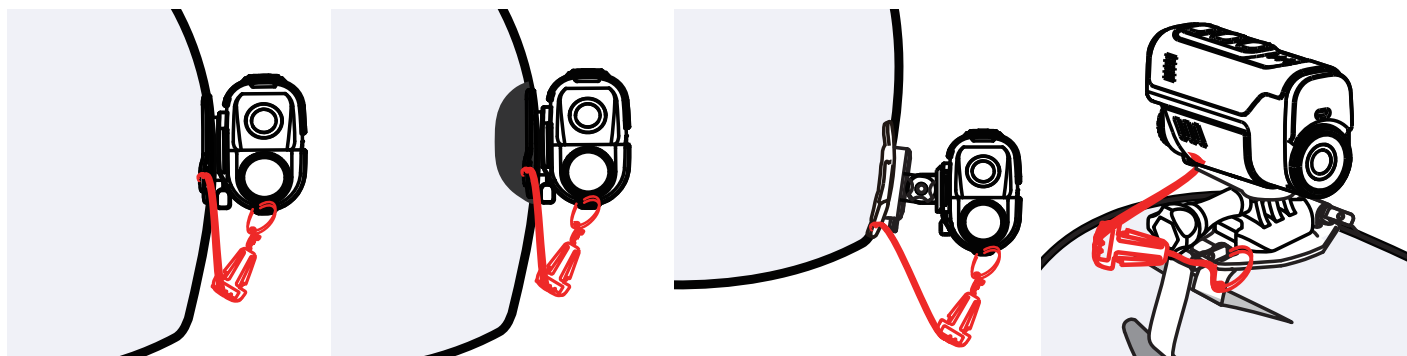
ご注意

- 取り付けの作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。カメラのレンズを直接手で触らないでください。また、鋭利な工具がレンズにあたらないように注意してください。
- 貼り直しはテープの粘着力が弱まります。確実に装着しないと走行中に落下する恐れがあります。
- 本機の落下や脱落による破損、損失、故障は、保障範囲から外れます。十分注意して取り付けてください。
- 本体を取り付ける・取り外される際等、樹脂パーツを破損しないよう丁寧にお取り扱いください。

■落下防止ストラップを取り付ける

付属の落下ストラップを本体とブラケットに取り付け、万が一本体が抜けてしまった場合でも落ちないようにしてください。

取付例



■マイク用スポンジを取り付ける

マイクにスポンジを取り付けると、風雑音を効果的に低減することができます。必要に応じて、スポンジの両面テープの保護シートを剥がして、本機底部のマイク収音部に貼り付けてください。



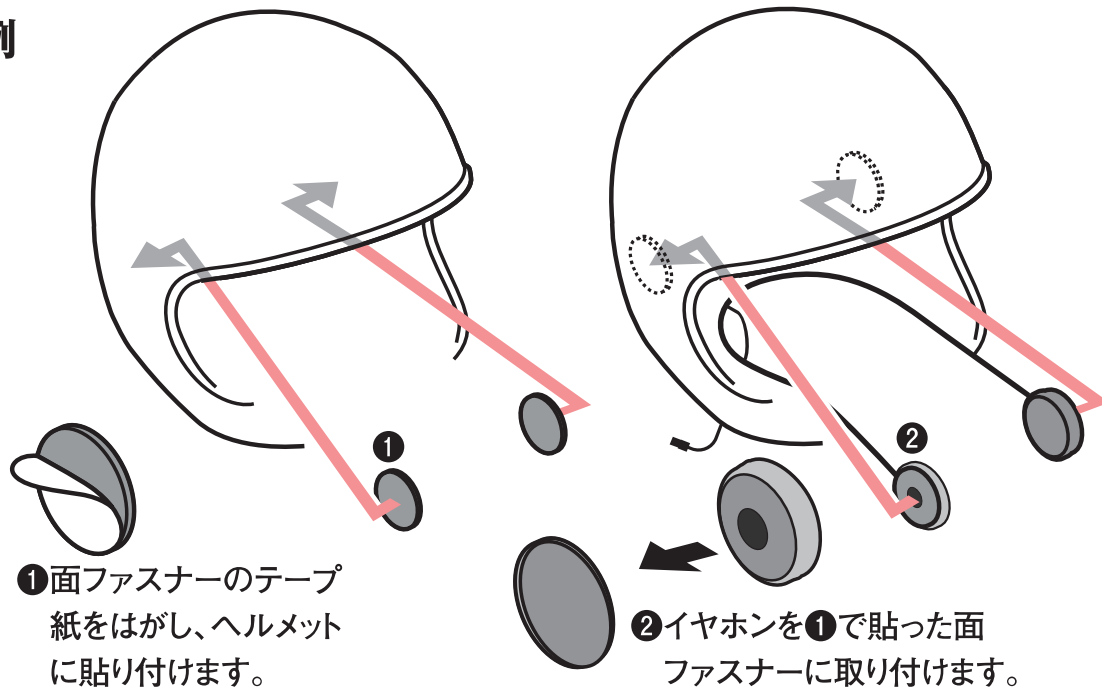
ご注意

- 取り付けの作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。カメラのレンズを直接手で触らないでください。また、鋭利な工具がレンズにあたらないように注意してください。
- 貼り直しはテープの粘着力が弱まります。確実に装着しないと走行中に落下する恐れがあります。
- 本機の落下や脱落による破損、損失、故障は、保障範囲から外れます。十分注意して取り付けてください。
- 本体を取り付ける・取り外される際等、樹脂パーツを破損しないよう丁寧にお取り扱いください。

■ヘルメット装着型イヤホンを取り付ける

ヘルメットの種類に応じて、ヘルメット内側の耳に近い位置にイヤホンを取り付けます。

取付例



ご注意

- イヤホンは防塵防滴構造ではありません。雨の日や浜辺などで使用するときには、スポンジをぬらさないようお気を付けてください
- 前方を遮ることがないように取り付けてください。
- 貼り直しはテープの粘着力が弱まります。確実に装着しないと走行中に落下する恐れがあります。
- ケーブルが引っ張られた状態にならないよう、ゆとりをもって配線してください。
※ケーブルはヘルメットの内装内に収めて使用してください。

■取り付け後の確認

- 1.取り付け後に、専用のスマートフォンアプリを使用して映像が正しく記録されていることを確認してください。
- 2.各部を点検し、異常がなければ作業は終了です。
※万が一のために使用後は、本機をヘルメットから外して管理していただくことをおすすめいたします。

専用スマートフォンアプリ「録RecordV2」について

専用スマートフォンアプリ「録RecordV2」を使用し、スマートフォンとドライブレコーダーを無線LANで接続することにより、走行速度の表示、ドライブレコーダーの設定や録画したファイルの再生、録画したファイルをスマートフォンへ保存や走行軌跡の地図表示することが出来ます。

専用スマートフォンアプリ「録RecordV2」の入手方法

専用スマートフォンアプリは、App Store(iOS) またはGoogle Play (Android) の公式アプリストアの検索画面から「録RecordV2」と入力し、検索してインストールすることが出来ます。



専用スマートフォンアプリ「録RecordV2」の主な機能

■録画・静止画ファイル操作

- ・本体microSDカード内の録画ファイル(常時、衝撃、駐車監視)の再生
- ・スマートフォンに保存した録画ファイルの再生

●記録ファイルの削除

- ・録画ファイル・静止画ファイルの個別ファイル削除

●記録ファイルのダウンロード

- ・録画ファイル・静止画ファイルをダウンロードしてスマートフォン内に保存

■本体機能操作と設定操作

- カメラ撮影角度の確認
- 画像サイズ、画質の設定
- 音声記録のON/OFF設定・感度設定
- microSDカードのフォーマット
- 無線LAN接続パスワードの変更
- 衝撃検知感度の設定

専用スマートフォンアプリ「録RecordV2」について

専用スマートフォンアプリ「録RecordV2」のメイン（TOP）画面の各アイコン、ボタンについて説明します。

アプリメイン(TOP)画面の各表示名称・内容

スマートフォンを操作して専用スマートフォンアプリ「録RecordV2」を起動すると自動的にメイン（TOP）画面が表示されます。

メイン（TOP）画面の下側に「保存済み」「リアルタイム映像」「その他」の3つのメニュータブを表示します。該当のアイコンをタップすると、選択したメニュー画面を表示します。



① Wi-Fi SSID

接続済みのドライブレコーダーのWi-Fi IDが表示

② 情報

接続済みのドライブレコーダーの内蔵バッテリー残量・Wi-Fi接続状態が表示

③ ドライブレコーダー連携ボタン

ドライブレコーダーのリアルタイム映像画面へ移行

④ 接続ガイドボタン

接続ガイドの画面を表示

⑤ 保存済み

再生リスト（ダウンロード済み）の画面を表示

⑥ レコーダー接続

ドライブレコーダーの接続画面を表示

⑦ その他

困ったときの対処方法やアプリバージョンなどの情報を確認

専用スマートフォンアプリ「録RecordV2」について

リアルタイム映像画面の表示説明

専用スマートフォンアプリ「録RecordV2」の「リアルタイム映像」画面の各アイコン、ボタンについて説明します。



① 戻るボタン

アプリメイン画面へ戻る

② 録画状態

録画状態・時間を表示

③ GPS状態

GPSによる測位ができることを表示

④ 設定ボタン

「設定」メニューの画面を表示

⑤ バッテリー状態

内蔵バッテリーの残量状態を表示

⑥ ガイドラインボタン

ガイドラインを表示

⑦ カメラ映像画面

カメラのリアルタイム映像を出力

⑧ 鏡像ボタン

表示されている映像の左右を切替

⑨ 全画面表示ボタン

カメラ映像画面を全画面表示に切替

⑩ マイクボタン

録音をする/録音をしないの設定を切替

⑪ 静止画ボタン

録画中に静止画 (キャプチャー) を保存

⑫ カメラ切替ボタン

フロントカメラ/リアカメラの表示を切替

⑬ 録画ボタン

録画を開始/停止

⑭ 再生ボタン※microSDカード

「再生リスト」メニューの画面を表示

⑮ GPS情報ボタン

GPS情報を表示 (GPSによる測位が完了まで表示しません。)

専用スマートフォンアプリ「録RecordV2」について

リアルタイム映像画面の表示説明

ガイドライン、GPS情報を表示させた画面の各アイコン、ボタンについて説明します。



⑩ 戻るボタン

ガイドラインを水平方向、
-9° ~ +9° の範囲内に回転

⑪ ガイドライン

ガイドラインの横線を水平な地面と並行に
なるよう調整

⑫ スピードメーター

走行速度を表示

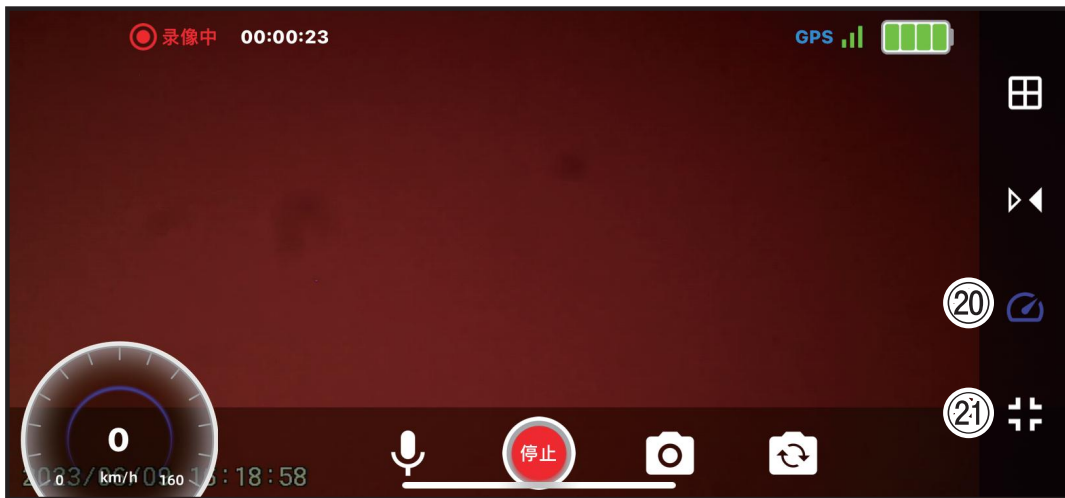
⑬ 方角

走行方向を表示

専用スマートフォンアプリ「録RecordV2」について

リアルタイム映像画面の表示説明

カメラ映像画面から、全画面表示にした画面の各アイコン、ボタンについて説明します。



⑳ GPS情報ボタン

GPS情報を表示（GPSによる測位が完了まで表示しません。）

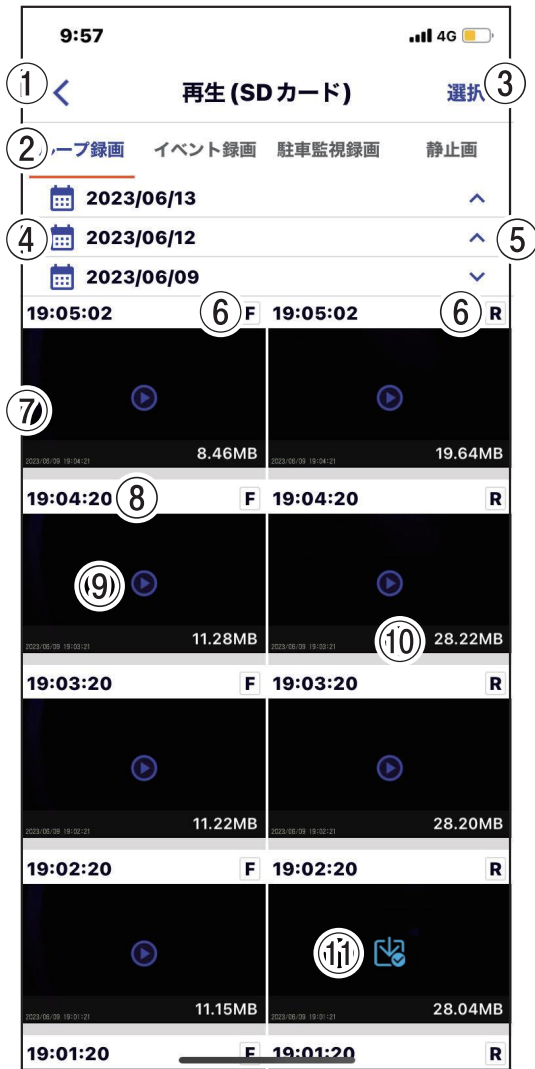
㉑ 通常画面表示ボタン

カメラ映像画面を通常画面表示に切替

専用スマートフォンアプリ「録RecordV2」について

「再生リスト」メニュー画面の表示説明

専用スマートフォンアプリ「録RecordV2」の「再生リスト」メニューの画面の各アイコン、ボタンについて説明します。



① 戻るボタン

1つ前の画面へ戻る

② タブ

録画や静止画のフォルダを切替

③ 選択ボタン

選択画面を表示

④ 撮影日付

記録開始時の年/月/日が表示

⑤ 日付リストボタン

日付リストの表示/非表示を切替

⑥ 撮影カメラ

F: フロントカメラ、R: リアカメラ

⑦ サムネイル

動画・静止画のサムネイルが表示

⑧ 撮影時間

記録開始時の時/分/秒が表示

⑨ 再生ボタン

ファイルを再生

⑩ ファイルサイズ

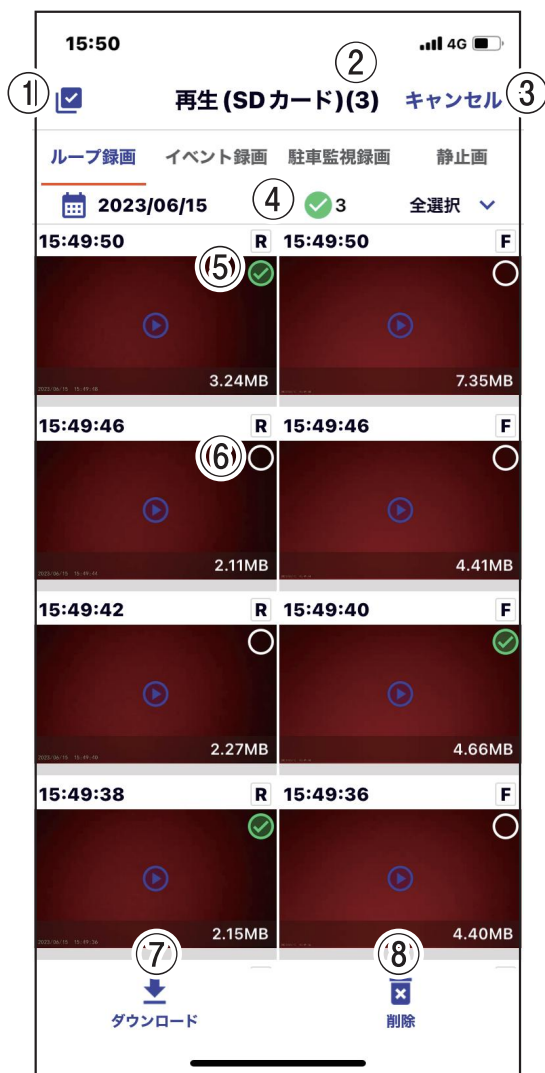
ファイルのサイズが表示

⑪ 保存済

microSDカード内の再生リストのダウンロード済みのファイルにアイコンが表示

専用スマートフォンアプリ「録RecordV2」について

「再生リスト」の選択画面の表示説明



① 全選択/全非選択ボタン

該当タブの全ファイルを選択/非選択

② 選択中のファイル数 (全て)

選択中ファイル数量

③ キャンセルボタン

選択画面を終了

④ 選択中のファイル数 (同日付)

同じ日付リスト内に選択したファイル数量

⑤ 選択中

選択したファイルに表示

⑥ 選択可能

選択していないファイルに表示

⑦ ダウンロードボタン

選択したファイルをダウンロード

⑧ 削除ボタン

選択したファイルを削除

専用スマートフォンアプリ「録RecordV2」について

「再生 (microSDカード)」画面の表示説明



① 戻るボタン

1つ前の画面へ戻る

② ファイル名

再生中のファイルの名称

③ ガイドラインボタン

ガイドラインを表示

④ 再生ボタン

動画を最後まで再生した後に表示

⑤ 鏡像ボタン

表示されている映像の左右を切替

⑥ 全画面表示ボタン

動画再生を全画面表示に切替

⑦ ファイルサイズ

ファイルのサイズが表示

⑧ 前ファイルへ

1つ前に記録されたファイルを再生

⑨ 再生/一時停止ボタン

再生または一時停止

⑩ 次ファイルへ

1つ後に記録されたファイルを再生

⑪ 再生バー

再生中の動画の再生時間状況を表示

⑫ ダウンロードボタン

選択したファイルをダウンロード

⑬ キャプチャーボタン

再生中にタップすると、静止画1枚を保存

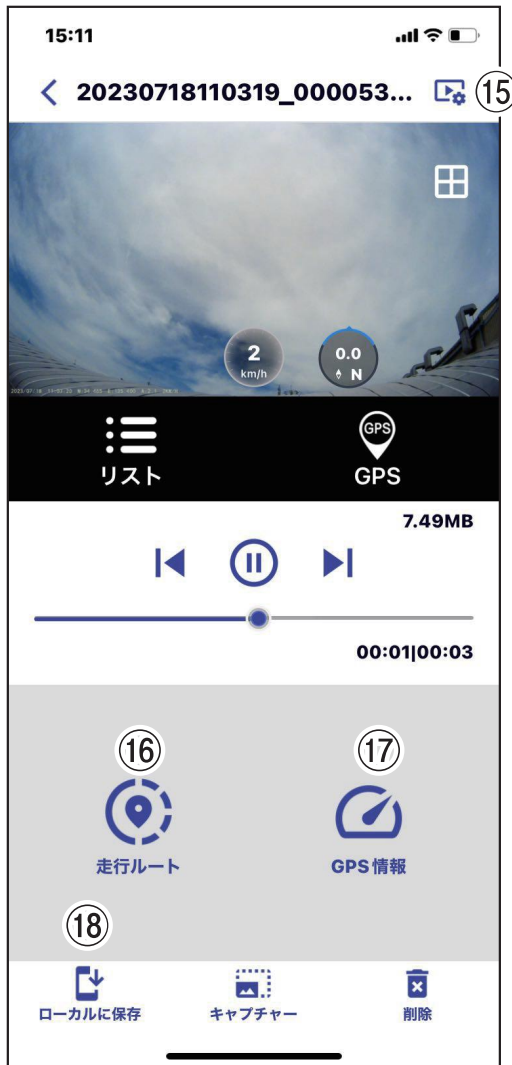
⑭ 削除ボタン

microSDカードからデータを削除

専用スマートフォンアプリ「録RecordV2」について

「再生 (ダウンロード)」画面の表示説明

専用スマートフォンアプリ「録RecordV2」にダウンロードしたの動画を再生する画面の各アイコン、ボタンについて説明します。



⑮ カットボタン

動画のカット編集画面を表示

⑯ 走行ルート

タップすると、走行ルートとマップが表示

⑰ GPS情報ボタン

GPS情報を表示

⑱ ローカルに保存

ファイルをスマートフォンのアルバムに保存

専用スマートフォンアプリ「録RecordV2」について

「再生 (ダウンロード)」画面の表示説明

専用スマートフォンアプリ「録RecordV2」にダウンロードしたの動画を再生する画面の各アイコン、ボタンについて説明します。



⑱ GPS情報

動画に記録されたGPS情報 (車速、方位) が映像上に表示

⑳ 走行ルート

動画に記録されたルートが地図上に表示

専用スマートフォンアプリ「録RecordV2」について

「カット編集」画面の表示説明

専用スマートフォンアプリ「録RecordV2」にダウンロードした動画を5秒～任意の長さまでカット編集出来ます。



① 戻るボタン

1つ前の画面へ戻る

② 再生/一時停止ボタン

再生または一時停止

③ 再生バー

再生中の動画の再生時間状況を表示

④ 調節バー

動画カットの「始点」と「終点」を設定

⑤ 消音ボタン

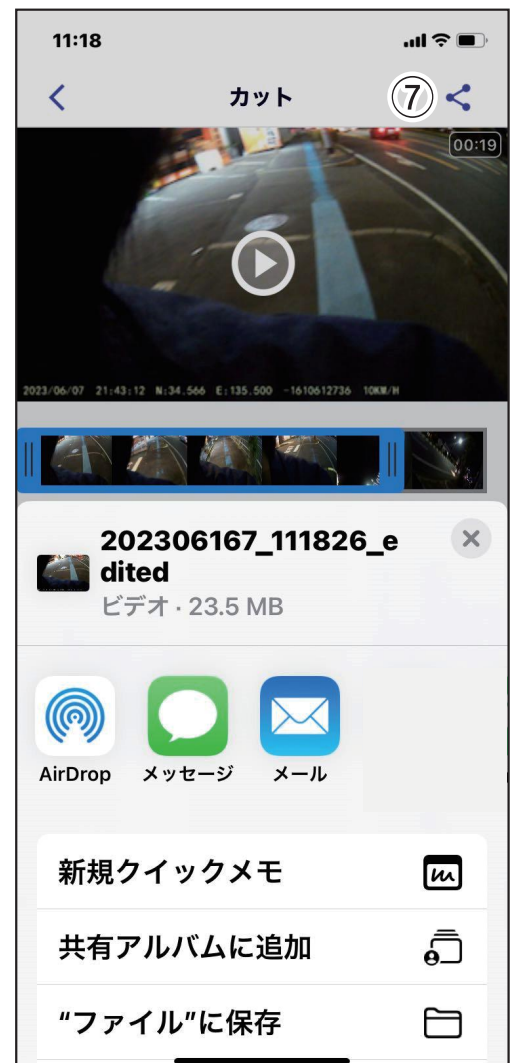
編集動画の音声を消音ON/OFFの設定

⑥ 保存ボタン

編集する動画を新規ファイルとして保存

⑦ シェアボタン

動画を共有



専用スマートフォンアプリ「録RecordV2」について

「設定」メニューの画面の表示説明

設定メニュー画面では、「レコーダーSSID変更」「録画解像度の設定変更」「イベント録画モードの衝撃感知感度の設定変更」「音声記録のON/OFF」「microSDカードのフォーマット」「工場出荷時設定」などの操作をすることが出来ます。

また、「microSDカードの残容量 / 録画可能時間の目安」や「ドライブレコーダー 本体ファームウェアのバージョン」を確認することが出来ます。

画面右側から変更したい項目をタップして設定を変更します。



① 戻るボタン

1つ前の画面へ戻る

② >ボタン

サブ画面を表示

③ 設定値

各項目の現在の設定を表示

④ ON/OFFスイッチ

ON/OFFの設定を変更

専用スマートフォンアプリ「録RecordV2」について

設定一覧

メニュー	設定内容 ★は初期値です。	説明
レコーダーSSID変更	—	本機の無線LAN(Wi-Fi)のIDを変更します。
レコーダーPW変更	—	本機の無線LAN(Wi-Fi)のパスワード※を変更します。 ※初期値:12345678
録画解像度	4K 23FPS / 2K 28FPS / 1080P 55FPS / 4K 23FPS+1080P 28FPS (★) / 2K 28FPS+1080P 28FPS / 1080P 55FPS+1080P 28FPS / 1080P 28FPS+1080P 28FPS / 720P 28FPS+720P 28FPS	フロントカメラとリアカメラの画質を設定します。
イベント録画モード	オフ / 0.2G / 0.4G / 0.6G / 0.8G / 1.0G(★) / 1.2G / 1.4G	緊急録画のGセンサー感度(衝撃検知感度)の設定項目を表示します。録画中に事故や衝突など一定以上の衝撃が加わると、録画ファイルがイベント録画として保存されます。 0.2G(検知しやすい) ⇔ 1.4G(検知しにくい) ※「上書きループ録画:ON」の場合は、イベント録画域の容量が一杯になると、古いデータから上書きして新しいデータを記録します。
駐車監視録画モード	オフ(★) / 高感度 / 中感度 / 低感度	駐車監視録画モード中に本機を起動させるGセンサー感度(衝撃検知)を設定します。低感度(検知しにくい) ⇔ 高感度(検知しやすい)
フロントカメラ輝度	-2 / -1 / 0(★) / +1 / +2	フロントカメラで記録される映像の露出(明るさ)レベルを設定します。
リアカメラ輝度	-2 / -1 / 0(★) / +1 / +2	リアカメラで記録される映像の露出(明るさ)レベルを設定します。
上書きループ録画	オフ / オン(★)	ループ録画するかどうかを設定します。 ※「上書きループ録画」をOFFにすると、microSDカードの容量が録画ファイルで一杯になると録画を停止します。録画ファイルは上書きされませんが、録画を継続するためにはフォーマットまたは別のmicroSDカードへの交換が必要です。

録画時間(1ファイル)	1分 / 3分(★) / 5分	ループ録画ファイルの1ファイルあたりの録画時間を設定します。
速度アラーム	オフ(★) / 30km/h / 40km/h / 50km/h / 60km/h / 80km/h / 90km/h	走行速度を超えたときにアラームで警告する上限速度を設定します。
自動電源オフ	オフ(10秒)(★) / 1分 / 10分 / 30分	自動電源オフ時間を設定します。 外部電源接続を切断してから、設定した時間を経過すると、本機の電源をオフにします。 ※「バイブレーション」による案内を行いませんのでご注意ください。
連続運転アラーム	オフ(★) / 1時間 / 2時間 / 3時間 / 4時間 / 5時間	本機の電源が入ってから、設定した一定時間間隔で音声ガイダンスで休憩のタイミングを知らせます。
バイブレーション	オフ / オン(★)	警告や操作時にバイブレーションを動作させるかどうかを設定します。
自動録画 (Wi-Fi接続)	オフ / オン(★)	「Wi-Fi接続モード」終了後に常時録画を開始する/しないを設定します。
自動録画 (APP映像確認)	オフ / オン(★)	リアルタイム映像を表示する時、自動的に録画を開始する/しないを設定します。
GPS機能	オフ / オン(★)	GPSを受信する/しないを設定します。
ビデオスタンプ	オフ / オン(★)	microSDカードに保存する録画データ上に日時・速度・GPS座標を表示する/しないを設定します。
録音	オフ / 高感度(★) / 中感度 / 低感度	録画時の音声を記録する/しないを設定し、記録する場合はマイク感度も設定できます。
音声ガイダンス	オフ / オン(★)	音声ガイダンスのあり/なしを設定します。
SDカード情報	残量:XX.XXGB;総容量: XX.XXGB;残り記録可能:○○ ○MIN	本機に挿入されているmicroSDカードの情報を表示します。
SDフォーマット	キャンセル / OK	本機に挿入されているmicroSDカードをフォーマットします。
工場出荷時設定	キャンセル / OK	本機の設定を初期状態に戻します。
ファームウェア	20230XXX	本機のソフトウェアバージョンを表示します。

スピード注意情報について

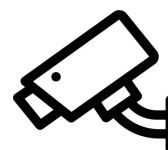
GPSが受信すると、スピードの出し過ぎに注意すべき場所を音声でお知らせします。
自車が注意すべきポイントに近づいたときに下記の音声案内を行います。
「この先、スピードに注意してください。制限速度は〇〇キロメートルです。」

- 案内距離:進入速度によって案内距離が変わります。(約300M手前～約990M手前)
- 進入角度:道路の状況に応じて、自動的に切り替わります。

《例》



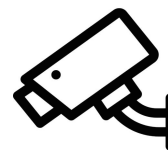
進入スピード:80km/h



♪案内距離:約500M



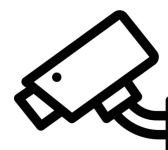
進入スピード:60km/h



♪案内距離:約400M



進入スピード:40km/h



♪案内距離:約300M

ご注意

- 音声ガイダンスは、1回の接近につき1度のみの案内となります。
- 一般道と有料道路が併走していたり、首都高速道路など道路が入り組んでいる場所では、正しく注意情報の案内がされないことがあります。

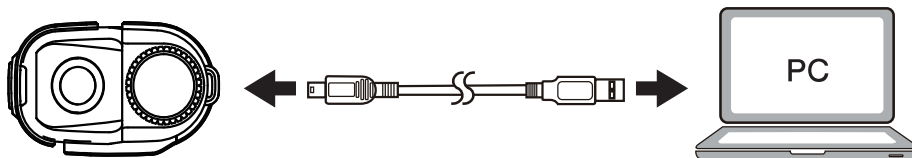
パソコンで再生する

専用スマートフォンアプリ以外に、パソコンにてデータを確認する方法は2種類あります。

microSDカード：microSDカードを本体から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンで再生します。



USBケーブル：本体とパソコンをUSBケーブルで接続し、USBディスクが表示されます。



パソコンで再生する方法1:

本機で記録されている動画や写真ファイルをパソコンにコピーし、Windows media player、QuickTimeなどの汎用ソフトで再生できます。

※録画ファイル形式はMP4ファイルのため、一般的なパソコン用動画再生ソフトで再生できません。

パソコンで再生する方法2:

無料汎用動画再生ソフト[HIT GPS Player]※で再生することができます。

「HIT GPS Player」を使用により、本機で録画した動画ファイルを再生、走行軌跡の地図表示(インターネットに接続する必要があります。)、走行速度の表示をすることが出来ます。

※本機で「SDフォーマット」を実行すると、本機に挿入しているmicroSDカード内に「hitlitlev1.0.exe」ファイルが保存されます。

microSDカードをパソコンに接続し、microSDカード内の「hitlitlev1.0.exe」アイコンをダブルクリックするか、右クリックで「管理者として実行」で開く、

画面に表示される手順(英語)に沿って無料汎用動画再生ソフト[HIT GPS Player](Mac非対応)をダウンロード・インストールできます。

※[HIT GPS Player]をインストールするにはインターネットが必要です。

※「hitlitlev1.0.exe」アイコンを右クリックで「管理者として実行」を推奨します。

パソコンの動作環境

- ・Windows 8.1/10 (32/64bit)がインストールされたパソコン。
- ・Windows Media Player、QuickTimeなど、.MP4(H.264) 動画再生ソフトがインストールされていること。
- ・USB2.0インターフェースもしくは microSD/SDHCカードリーダーを備えていること。
- ・それぞれの OS の推奨環境以上で動画再生でも十分な能力を持っていること。

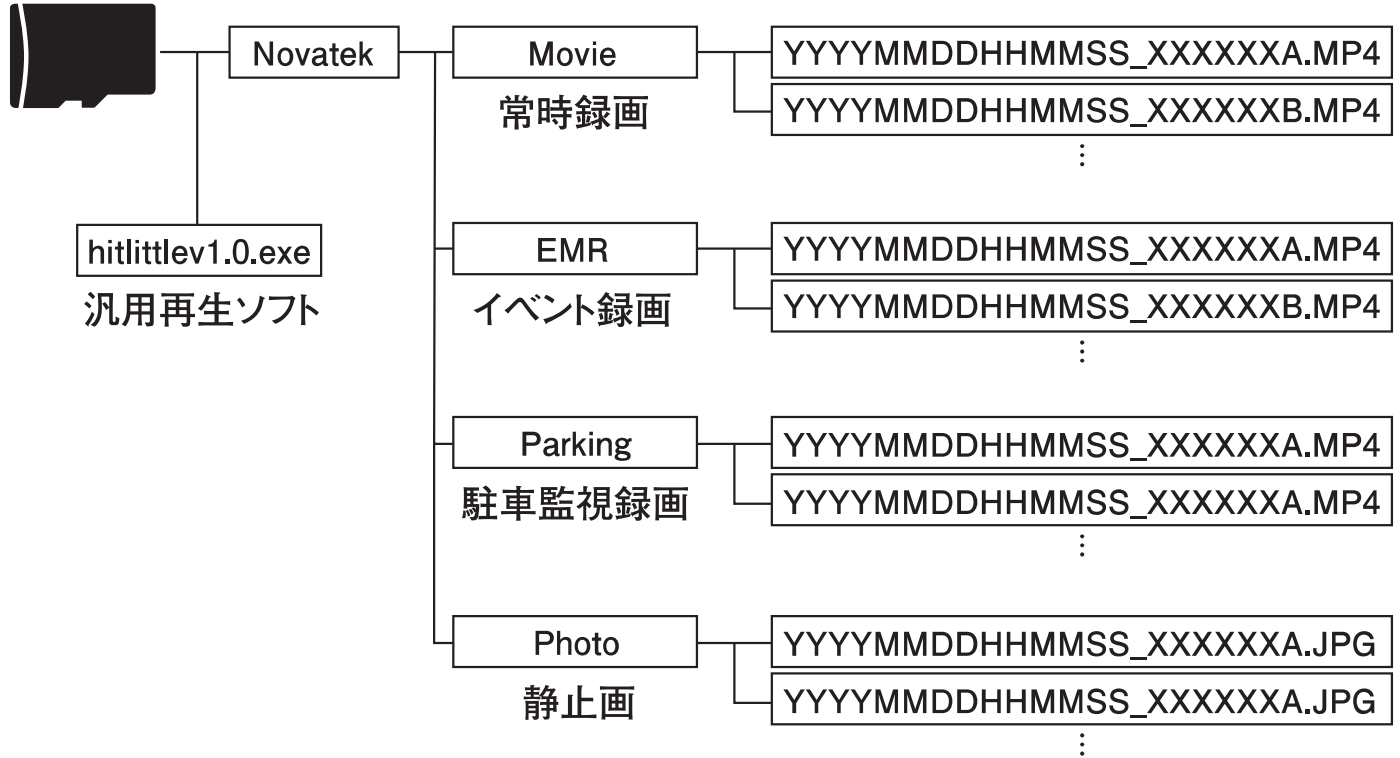
パソコンで再生する

フォルダ構成

microSDカードに常時録画・緊急録画(イベント録画)・駐車監視録画・静止画ファイルが保存される際、それぞれの専用フォルダが作成され、以下のような構成になります。

※データ種別により保存されるフォルダが異なります。

microSD



ファイル名

ファイル名は録画(撮影)した年月日、時分秒、ファイル番号の組み合わせで作成します。フロントカメラ映像とリアカメラ映像はファイル名が異なります。また、映像ファイルと静止画ファイルでは拡張子が異なります。

■ファイル表示例

20230721 142052_000001A.MP4

年、月、日

時、分、秒

ファイル番号

拡張子(動画)

※静止画ファイルの場合、
拡張子は「.JPG」となります。

A: フロントカメラの映像

B: リアカメラの映像

※ご注意:フロント映像とリア映像のファイル間で秒数値が1秒ほど異なる場合があります。
※パソコンによって拡張子は表示しない場合があります。

パソコンで再生する

再生画面について

「ビデオスタンプ」の設定をONにした場合は、再生画面の左下隅に自動的に日時情報やGPS情報が表示されます。

「ビデオスタンプ」のON/OFFは専用スマートフォンアプリの設定メニューより設定できます。



ご注意

- 具体的なパソコンでの操作については、パソコンメーカー、ソフトメーカーにお問い合わせ下さい。
- 弊社では、パソコンの動作についてのサポートは一切いたしません。

よくあるご質問

ご質問	回 答
電源が入らない、動作しない、動作が不安定	<p>●充電が十分にされていか確認してください。 ⇒内蔵バッテリーの残量が少ない状態で使用すると、外部から電源供給する場合であっても本体が正常に作動しない場合があります。定期的に本体の充電を行なってください。</p> <p>●本体が高温(50℃以上)になっていませんか? ⇒microSD カードへの書き込みエラー発生時や外部環境要因などにより、本体が高温(50℃以上)になると、動作を停止する場合があります。本体の温度が下がってから使用してください。</p> <p>●システムエラーの可能性がります。 ⇒リセットボタンを押して本体を再起動してください。</p>
録画ボタンを押しても、録画ランプが点滅しない	microSDカード未挿入、または読み込みができてない可能性があります。microSDカードをご確認し、フォーマットしてください。
記録が出来ない ファイルの読み込みが遅い	microSDカードが破損している可能性があります。 ⇒新しいmicroSDカードに差し替えてください。
起動後、暫くが経ってから自動録画開始する	前回利用時に最後に記録ファイルが破損した可能性があります。その場合には、本機はファイルを修復してから録画開始します。
イベント録画が頻繁に起こる	イベント録画モードの感度を段階的に低く設定し、確認してください。
日時表示が違う	内蔵の充電式バッテリーが放電してしまっています。 ⇒本体に電源が入った状態でしばらく充電してから、日時を再設定してください。充電しても初期値に戻ってしまう場合は内蔵の充電式バッテリーの寿命です。
動画再生で映像が飛んだりカクカクする	microSDカードのスピードクラスが足りていない可能性があります。 ⇒録画解像度設定を下げるかmicroSDカードを交換してください。
GPSの位置情報が取得出来ない、または位置がずれる	周囲の環境によってGPSの電波を受信しにくい場所があります。場所を変えて位置情報が正しく取得出来るか確認してください。
ACアダプターがない	本製品には充電用USBケーブルのみ同梱していますので、市販のACアダプター(定格5V/2A)のものをお使いください。
microSDカードがフォーマットできなくなった	microSDカードの寿命といえますので、新品に交換が必要です。 ※microSDカードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。また使用状況によりmicroSDカードの寿命は短くなります。 ※microSDカードのNANDフラッシュメモリの素子が書き込み回数の上限に達すると、カード側にデータロック機能がないmicroSDHCおよびmicroSDXCであっても「書き込み禁止」の状態となり、フォーマットができなくなります。

よくあるご質問

ご質問	回 答
スマートフォンと接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ●スマートフォンのWLAN (Wi-Fi) 機能はONになっていますか？ ●WLAN (Wi-Fi) が繋がりにくい場所で作業を行なっていませんか？ ●スマートフォンとのWi-Fi接続時に入力したパスワードが間違っていないですか？ <p>本製品は、複数台のスマートフォンとの接続はできません。 本製品が既に他のスマートフォンとWi-Fi接続状態にある場合は、その接続を解除してからお試しください。</p>
録画中にWi-Fi機能 (Wi-Fi接続モード) を使用したい	<p>本機は録画中に「Wi-Fi接続モード」を起動できません 本機のWi-Fi機能を利用する場合は、必ず安全な場所に停車してから、録画を停止してから操作してください。</p>
使用中に本体/部品が脱落した	<p>ヘルメットまたは車両への取り付けが確実ではなかった可能性があります。 ⇒本体および各部品の脱落防止対策が不十分だった可能性があります。</p> <p>※本製品の各部品は、走行中に落下しないようにヘルメットまたは車両へ確実に取り付けをしてください。 また、本体および各部品の脱落防止対策は、全て使用者本人のリスク管理のもとで行なってください。 本体/部品の脱落や付随して発生した損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。</p>

製品仕様

イメージセンサー	1/3inch 4M-pixel CMOSセンサー
レンズ	6G+IR、F=2.0 (BFL=5.6MM)
レンズ画角	水平:約114°、垂直:約58°、対角:約145°
録画サイズ	UHD(3840×2160)@23fps QHD(2560×1440)@28fps FHD(1920×1080)@55fps UHD(3840×2160)@23fps+ FHD(1920×1080)@28fps QHD(2560×1440)@28fps + FHD(1920×1080)@28fps FHD(1920×1080)@55fps + FHD(1920×1080)@28fps FHD(1920×1080)@28fps + FHD(1920×1080)@28fps HD(1280×720)@28fps + HD(1280×720)@28fps
記録媒体	microSDカード(別売)※16GB～128GB対応 Class10以上
映像ファイル形式	MP4(H.264)
ファイルサイズ	1ファイル 1分/3分/5分
記録方式	ループ録画(上書き方式)
充電時間	約5時間(5V/2A 充電機器使用時)
バッテリー稼働時間	最大連続動作時間: 約7時間 (満充電、GPS機能オフ、録画解像度:FHD@28fps + FHD@28fps設定時)
防塵/防水	IP65相当(IP6X防塵、IPX5防水)
音声録音	ON/OFF選択可能:感度調整可能
外形寸法(W×H×D)	約95mm×33mm×55mm(取付ステー未装着時)
重量	約154g(ケーブル、取付ブラケットを除く)
動作温度範囲	-10℃～45℃
動作湿度範囲	20%～85%
製品保証期間	1年(消耗部品は除く)

※仕様はお客様に予告なく変更になる場合があります。

ファームウェアについて

ファームウェアの更新で不具合修正や機能改善する場合があります。
以下のURLにて最新のファームウェアを公開いたしますので、随時チェックしてください。

最新ファームウェアはコチラ



<https://maxwin.jp/datadownload/firmware/>

検索に製品番号の「BDVR-A002」を入力してください。

商品のアフターサービスに関するお問い合わせは、
お買い求めの販売店またはMAXWINホームページまで
お問い合わせください。

<https://www.maxwin.jp/>

商品保証書

本書は製品購入日から本書に定める保証期間内に故障が発生した場合に本書記載内容で無償修理する事を約束するものです。修理の際に必ず本保証書をご提示の上、ご依頼ください。

《無償修理規定》

■取扱説明書の注意事項に従い、かつ正常な使用状態で故障した場合に無償保証いたします。

無償修理をご依頼になる場合には、ご購入の販売店に本書を添えてご依頼ください。

■保証期間内でも次のような場合には有料になります。

- ・使用上の誤り及び過失による故障及び損害
- ・分解、改造及び保証シールが破れている場合
- ・火災、地震、風水害、落雷、その他天変地異、塩害、ガス害、異常電圧、指定外電源(電圧・周波数)などによる故障及び損害
- ・購入後の移動、落下あるいは運送などによる故障及び損害
- ・本保証書のご提示がない場合
- ・本保証書に購入年月日、お客様氏名、購入代理店の記入がない場合、あるいは保証期間切れ、字句を書き換えられた場合
- ・消耗品、付属品などの交換による故障及び損害

■本製品は故障などに伴う二次的損害に対する保証はいたしません。

■本書は日本国内のみ有効です。

■本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

※修理ご依頼の場合、データ検索のため、以下の欄にご購入時に記入したお客様データをご記載ください。

〈お客様氏名〉	〈故障内容〉※具体的にお書きください。
様	無効
〈電話番号〉	
〈ご住所〉	
〈販売店〉	〈購入日〉

MAXWIN
昌騰有限会社

商品についてのお問合せは
購入された販売店または

support@maxwin.jp

へお問い合わせください。

MAXWIN